神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
守月史貴
KAMIZUKI SIKI
3
Champion RED Comics
RED

神さまの怨結び 3

❖かみさまのえんむすび

守月史貴

Champion RED Comics

呪いたくば怨を結べ、
その身でもって
相手と交われ――
くちなわ
蛇
■怨結びの呪いを授ける美神。かつて男女を結ぶ呪いに使われた赤縄の成れの果てということらしい。その姿は時に子供、時に大人と変えることができ、甘いものに目がない。己にかけられた封印のため人の心の機微に疎く、その封印を解くため、少女たちに呪いを授けており、その封印が解ければ、これまでの悲劇を元に戻せるらしいのだが……。
その呪いは円が引鉄!
そして…………!?
怨結びの呪いとは??
対象者と交わり怨を結び、その者を消滅させる呪い。交わりが代償だが、真なる代償は行使した者もこの世の縁から外れることにあり、縁の外れ方は人により顕れ方が違う。ごく稀に呪いを使わずに蛇に返す「呪い返し」という現象が起こることがあり、その時、蛇は吐血するほどの厄を受ける。

怨結びはそんなささやかな奇跡すら根こそぎ奪うってのか………‼

クビツリ

■蛇の神社で首つり自殺をして以来、呪いを望む少女を蛇の元へ誘う役を担うようになった。実は今も死んでいる状態である。ある事件で左腕を失った。呪いを悪だと断じながらも、呪いの被害者を救うため、今は蛇の使いを果たしている。

怨結びに関わってしまった少女たち

江西知霧 えにし ちぎり

■好きな人のため呪いを授かるも、その呪いを目的外に使ってしまう。だが知霧は迷うことなく……。

美影 みかげ

■廃墟で知り合った美少女、冬輝に恋する少女。しかし冬輝の不貞を知った美影は呪いを冬輝に使おうと……。

千緒子 ちおこ

■自分を育ててくれた、たった一人の家族、叔父を呪いにかけてしまい、自殺を図ろうとするが……。

そして少女は死神となり――

一人の男が神社で首つり自殺をした。その時、男に語りかける者が……。その者こそ、かつて男女の縁に関わる道具「赤縄」だった者、蛇。彼女は男をクビツリと命名し、己の使いとして世に放つようになった――。

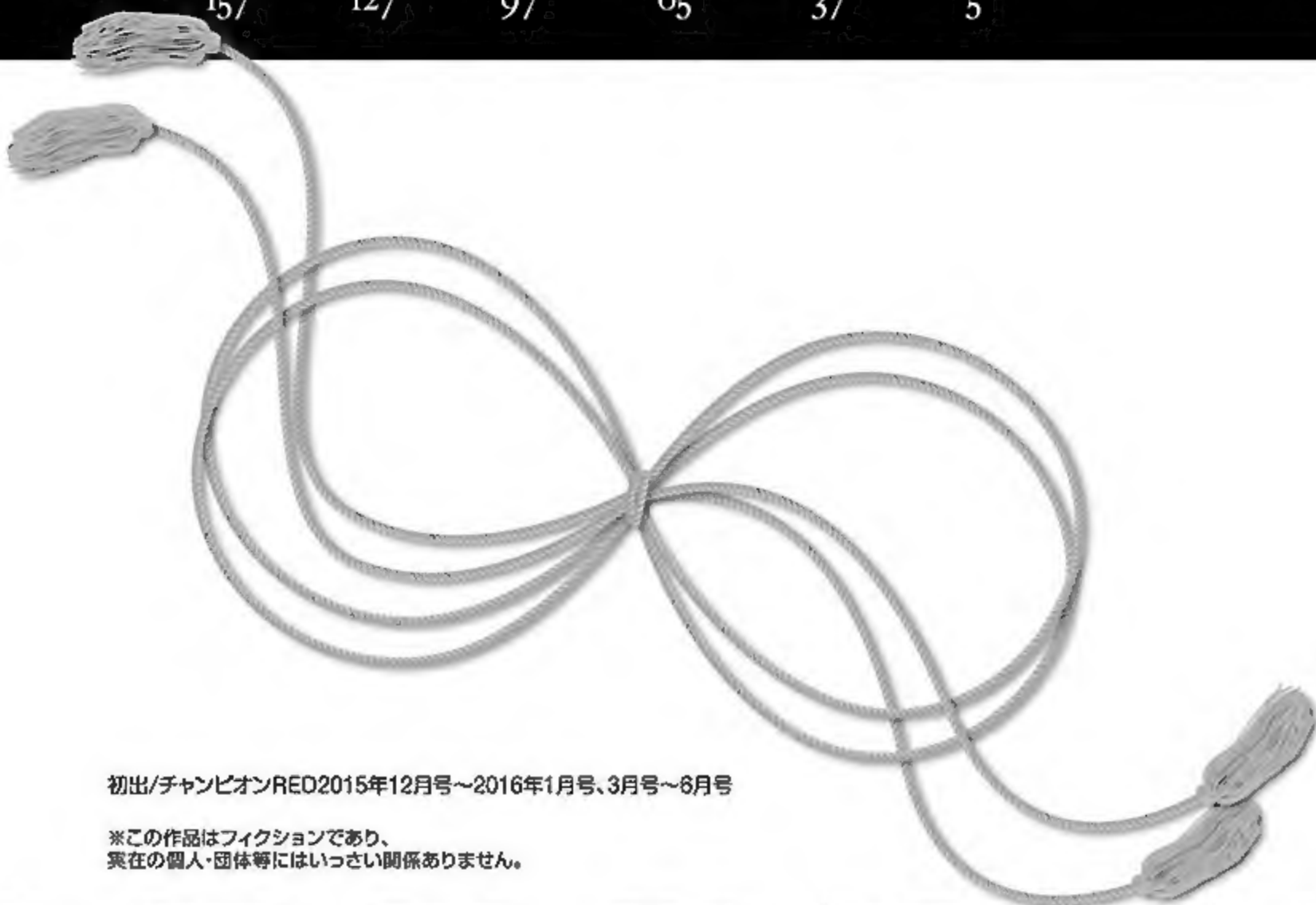
江西知霧は自分を救ってくれた浦見台のため、呪いを受けるが、母の彼氏に犯され呪いを使ってしまった。どうしても呪いが欲しい知霧は、呪いの重ねがけを決意、2回目の呪いを受ける。

一方、知霧の母は、娘が自分の彼氏に犯されたことを知り呆然となってしまう……。

浦見台をいじめる三人の内、一人を消した知霧。残るは二人、今、少女が死神となり――。

あたしはもう人間じゃないから

死神と化した知霧! 果たして――??

目次

初出/チャンピオンRED2015年12月号～2016年1月号、3月号～6月号

!…
――…い
第十節❖死神
おい蛇！
ここに居るのか？
くち……

第十節❖死神

……よくここが分かったの
…縄を辿ったんだよ
竹林の先にこんな場所があったとはな
流石に水の中とは思わなかったが……
見えないか…
……
水面一枚隔てただけで…
…?
クビツリよ

あやつの怨結び(えんなす)は
まだ続く…
恐らく標的全員
消すまでな
だが未だ妾(わらわ)にも
〝重ねがけ〟の
代償は───…
……いや
なんでもない
くるり
分からない
とは言いたく
ないんだな
ザザ…
───江西(えにし)…
知霧(ちぎり)───…

まっさか江西がマジでビッチだったなんてな～～
なんなら次はあいつらも誘って4Pしちゃう!?
なんてな!!
…つぎ…っ
そーだね…

あんたらに次は
もうねえよ

ヴ……
ヴ…ッ
失踪……
Sub【重要】男子生徒失踪における保護者
えー……

既にご存知とは思いますが…

このクラスで二人の男子生徒が失踪しました

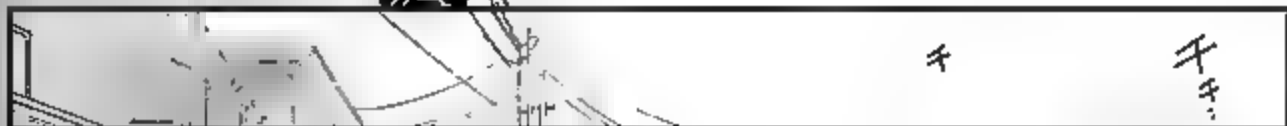
警察の調べでは二人とも学校を出た形跡が無く

校内で失踪した可能性が高いとのことで…

同じクラスの君たちに捜査協力を求められました

今から一人ずつ別室にて話をして貰います

何か知っていることがあればお話するように…

では……

騒ぎになるのが早すぎたことだ

日根岸の奴…仲間が二人消えて完全に警戒してる
あいつの疑心暗鬼が収まるまでは念のため間を置くべきか…
やっぱいよぉ〜!!

校内で消えたってことは部外者が侵入したか学校に居る人が犯人てことだよ!?
もしかしたら二人は殺されてて死体はまだ校内に…
こんな人目のある場所でそれは無理じゃね?

きっと人の来ない場所だよ!貯水タンクとか…
やめてよ伊織ちょー怖えーよ!
だってぇ〜…そう思わない!?
ねっ……

あ…れ？
？どーした？伊織
えっと…あ
ううん！な なんでもない！
いこっ
えっなに？トイレー？
ガラ…
……？
ピシャン…
一方的に仲直り追ってきたかと思えば…
またハブり再開？
ざわ
ざわ
…まどーでもいいけど…

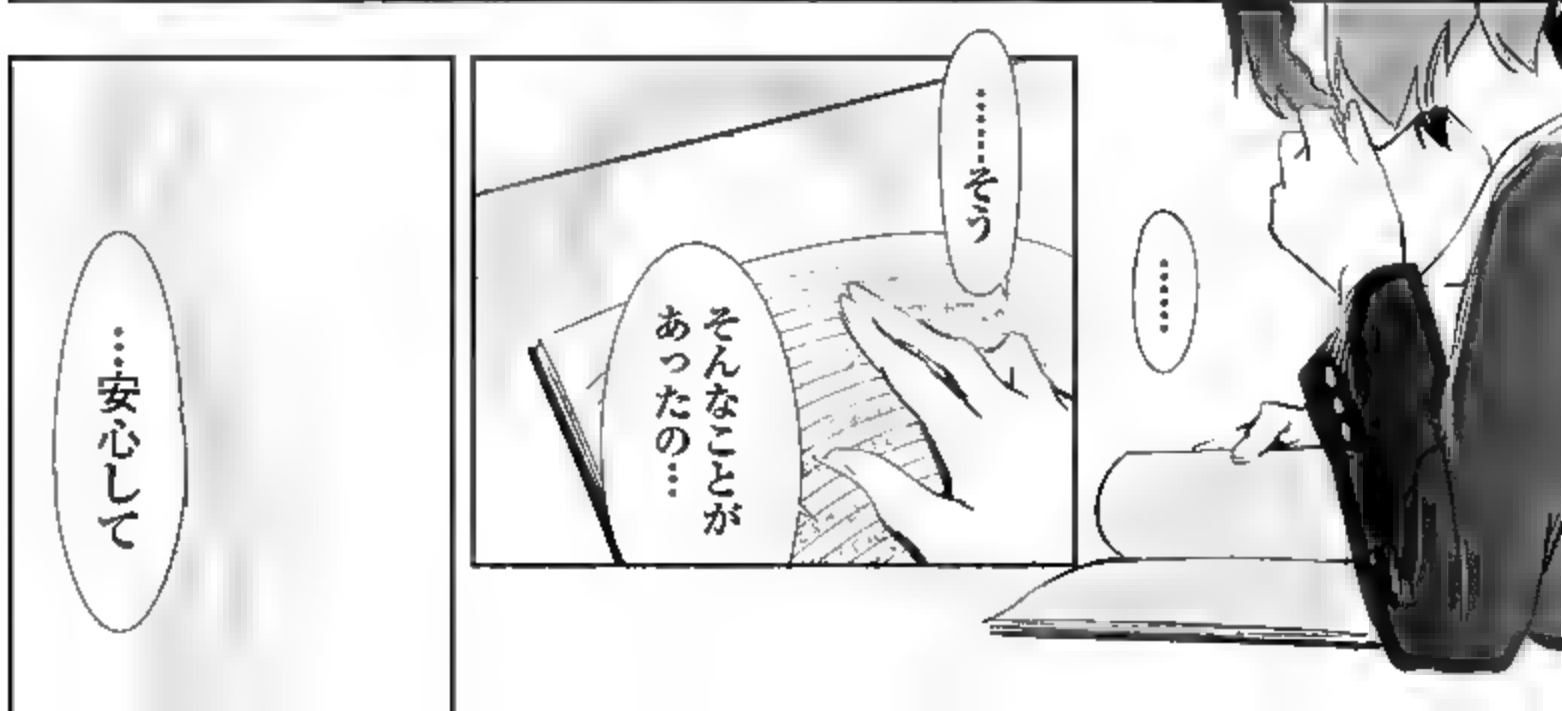
えーと 次は…
浦見台くん
…ですね？

…はい…
そんなに緊張しないで
些細なことで良いので あなたの知ってることを教えて貰えませんか？
彼らに何か変わった様子がなかったか とか…
先輩！

確か この子っすよねっ
ヒソ
ヒソ
失踪した二人がグループで苛めたっていう…

おぶッ

あっ 気にしないでね
それで…一人目の子が失踪した当時の様子覚えてるかな？
……す

こっ これ…
しっ死神のノート…
は？
かもしれない…です
おっおれがこんなこと書いたから……
だから
二人は…っ
……
……そう
そんなことがあったの…
…安心して

君のせいじゃない
これは何の変哲も無い普通のノートですよ
でも…念のためこれは預からせてくれませんか？
えっマジすか先輩…
……はい……
ねーそろそろうちらの番来るんじゃね？
キュッ
だりーけど戻ろかー
そーいや伊織さぁ
教室出る前変だったっしょ
また知霧となんかあった？

知霧・・・

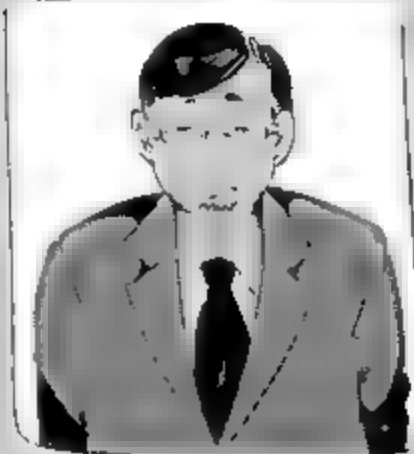
そっか 知霧・・・ 知らないはず ないよね・・・

だって ごく自然に そこに居たのに・・・

わかんないよ・・・ なにこれ・・・っ

〝知霧〟と 結びつかない・・・

江西知霧さんですね
それじゃお話を…
あたし
何も知らないんだけど
戻っていい？
ずっ随分スゴみのある子っすね
めっちゃガン飛ばしてますよっ
ごめんねもう少しお願い
無視。
…実は失踪した子たちがあなたの持ち物に悪戯してた——
って噂があるのだけど
カンケーねーよ
ほんの一時だけだし
……分かりました
じゃあ
ちょっと話は変わりますけど

別件で捜索願いの出ているこの人…

大板 太志

お母さんとお付き合いされてたそうですね

ちょ 先輩…

ストレートすぎっす…

彼の行き先には何かお心当たりありませんか？

落ち着け…

絶対バレるわけない

……

呪いなんて…

…なにも

あたし…あの人キライだったんで

ろくに会話もしたことないから

……そう
…分かりました
話し難いこと
聞いてごめんね

話は以上です
ご協力
ありがとう
ございました
…やっぱただの
考えすぎじゃん
じゃああたし
戻るから
あ 最後に
一つだけ

シュシュの下…
あなたの左手首

見せて貰って
いいですか?

はく…
これで全員
みたいっすね

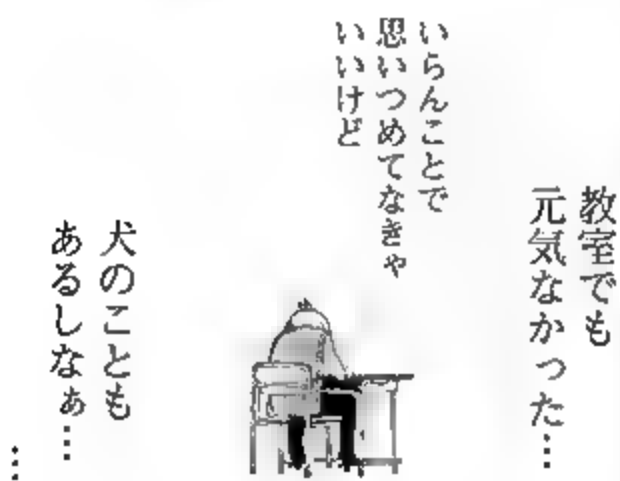
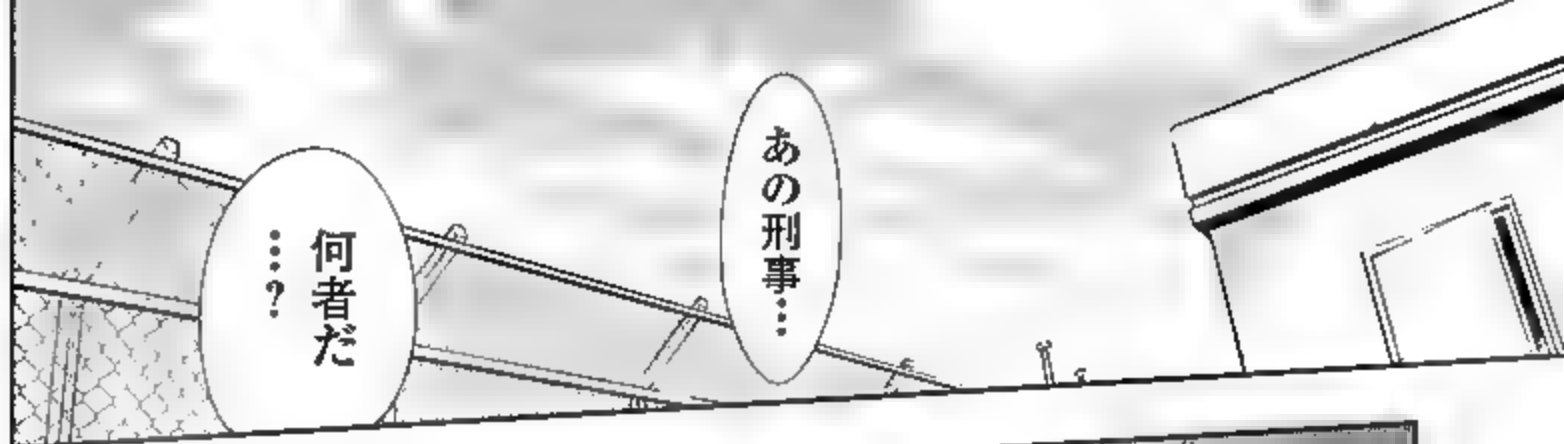
特にめぼしい情報は出ませんでしたね
新しいモノと言えばこの…
"死神のノート"くらい…
コレ…さすがに先輩も信じてませんよね？
しっかし最近のJKはおっかないっすねぇ
江西って子にはヒヤヒヤしましたよ
目が怖いのなんのって
でもなんであの子の手首なんか見たがったんですか？
櫻先輩

彼女の周りだけで3人…跡形も無く忽然と消えた…
もしも『アレ』が1人で複数使えるとしたら…?
今の彼女に印はなかった…
それも使用後なら確かめようが無い
じゃあ三人とも彼女が…
そんなことが可能だとすれば——
あんな悲劇を何度も繰り返させるわけにはいかない……!!
うそ…っ …えっ?
やだ…よ
稲…葉ぁ…っ
…やはり彼女は学生二人の失踪
そして母親の交際相手にも何らかの形で関与している…と考えて捜査を進めましょう
これから江西さんをマークします
えっ
なんでそんなこと分かるんですか?
もしかして刑事の勘てやつですか!?
せんぱーい!

教室でも元気なかった…

いらんことで思いつめてなきゃいいけど

犬のこともあるしなぁ…

…

あーもーっ
折角邪魔な奴らが消えたのに うじうじしてんじゃねーよ!!
好きでもない男とするのはやっぱイヤ…だけど
浦見台が…
ずっと一人で耐えてきた痛みに比べればほんの一瞬――
…っくそ
あたしは…
自分でも驚くくらい
…大丈夫だ
たったそれだけであいつを救えるなら
あと一手で終わる…
そしたら

……そしたら……？

は…？
〝そしたら〟って何期待してんだ あたし…
あたしは別に浦見台と付き合いたいとか思って ないし…
——こんな汚れた身体で今更…
ズズ…ッ
あいつと何が出来るんだっての…
代償のことだって…ある
……そう
あたしはあの男に犯された時点で…もう
永遠に誰とも結ばれない
だから 決心がついたんだ

てめーだろ?

っつかてめーしかいねえんだよ!

あいつらに何しやがった!!あ!?

ごめ…なさ…

こんなことになるなんて
思わなかっ…
あ?
自供したか?今自供したよな!?
じゃあさっさと自首してこい!!
なんなら俺がサツに突き出して――

何…バカなこと
やってんの？
浦見台を
ボコったって
何も解決しねーよ
…！

うっせえ！
江西知霧…
てめーも
怪しいんだよ!!
どうせハブられた時の
イタズラも俺らだって
気付いてんだろ!?
お前らの
仕業だろ…
…そうだ
あん時も
浦見台のバカが
てめーのこと庇ってたよな

ぎゅっ…

!

…落ち着けって
あの程度で別に
恨んだりしねーよ

日根岸
あたしはアンタを
心配してんだよ…

あんたまで
いらねーこと疑われる…
冷静になりなよ

……っ

――なら
証拠見せろよ
?
コ・イ・ツ・を・何・と・も
思・っ・て・ね・ー・な・ら
出・来・る・だ・ろ?
やり方は
てめーで考えろ
……
びっちの
ひと…
もう…
いい から

んっ……
ちゅ…
んふ♥
ちゅ
ぴちゃ…
ぷは…
あっ
れろっ♥
ふっ
んっ……
んっ…
あっ
あッ

あ…
え…
!
…ふ♥
あ
あっ
はぁ…
あ…♥
っや♥
あ
おっき…
ん♥
さわ
さわ
あっ

ん
は
ん
ピチャ
ン…

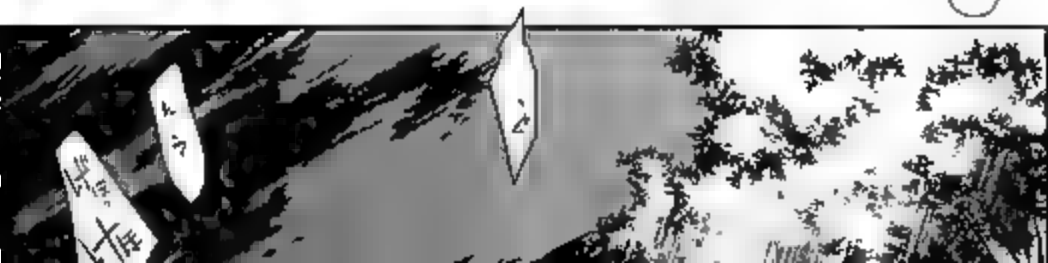
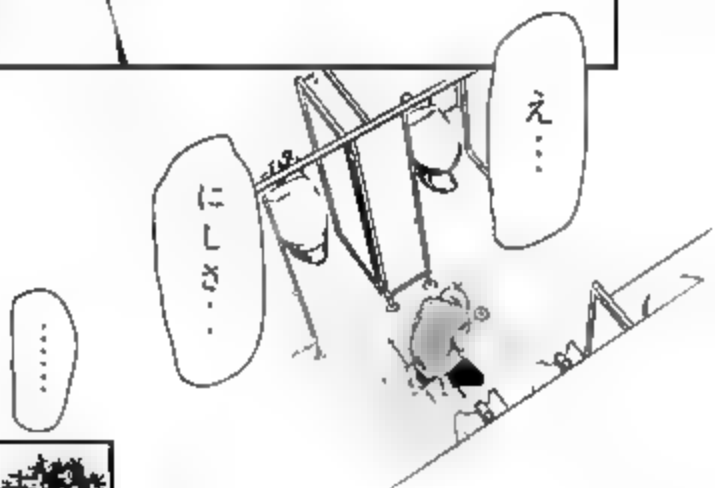
水というのは…不思議なものだ
陸で暮らす者は水の中で生きられず…その逆もまた然り
だから…水は全てを飲み込み隠してしまう
物であったり…時に人であったり…
そうなればもはや誰の目にも付かぬ
もっとも身近な…〝異世界〟だ
まるで…怨結び(えんむすび)の呪いだな

キーーン
コーーン
カーー
きゃっ
すみませ…
…やだ
何…？
今の人
許さない…
許さない
許さない…

ん…っ
はぁ…
ね…分かった？日根岸
あたしが興味あるのはあんたなの
浦見台なんかとつるむワケないじゃん
おぉう…お前がそう言うなら――
もういーわどうせ勝手に捕まるだろうし
んなことより……

第十一節❖本懐

――あと
ひと押し…
ゴメン
ゴメンね
浦見台
アンタを助けるため…
日根岸を信用させるため
今は……こうするしか――

『……じゃあね』
『……ヒトゴロシさん』
え…
にしさ…
……
ど

浦見台から
気を逸らすには
…ああするしか
なかった

あれ…？

なんで…
今更

へーきな
ハズなのに…

散々この手も身体も
汚してきたのに

なんで…っ

ひっ

ひくっ

…ひっ

止まんな…

出る…
わけないよね

あたしアイツに
ヒドイこと…
言ったんだ

それも…
あんな行為を
見せつけて

拒否られて
当然だ…

だけど……

お願い…

…プァ

プルルル

ひとことで
いいから……

罵られても
いいから――

プルルル

浦見台と
話がしたい…

プルルル

勇気が
ほしいよ…!!

ありがと
さっきは…助けてくれて

普通ひくし…あんなの
それにヒドイこと言ったし…
ごめん…なさい…
びっちのひとなら
あのくらいは
フツーにこなせ
ちゃうんだ
すげーなーって
…びっくりは
…したけど
感心した
あと日根岸が
ちょっと
羨ましかった！
…んだよ それ
ビッチビッチって…
ほんっと
しつれーな
奴…
…でさー
…そのままで
聞いてほしーんだけどさ
ぶッ

やっぱおれ
自首しよーと思うんだ
…え？
死神のノートは
警察の人に
渡しちゃった
だからもう
日根岸は消せない
けど…それで
よかったんだ
なに…
言ってんだ？
…それじゃ
浦見台は全然
救われない
じゃん!!
だいいち
自首って
なんでだよ!?
日根岸の取り巻きを
消したのは
あたしなのに――
…おれ…思うんだ
多分 知らない内に――

ノートに留めておくべき
憎悪を本当に
撒き散らしてたんだ
…だっておれ
本気で殺したいって
思ってたんだ
だから——
あいつらは
消えちゃった
ばっ…
バカじゃねーの!?
妄想も大概に
——…

——積み重なった
浦見台の憎悪…
単なる妄想だった
それを、勝手に
撒き散らしたのは

あたし…

…妄想が
叶った時
ホントはちょっと
嬉しかったんだ
でもそれは やっぱ
間違った考えだし

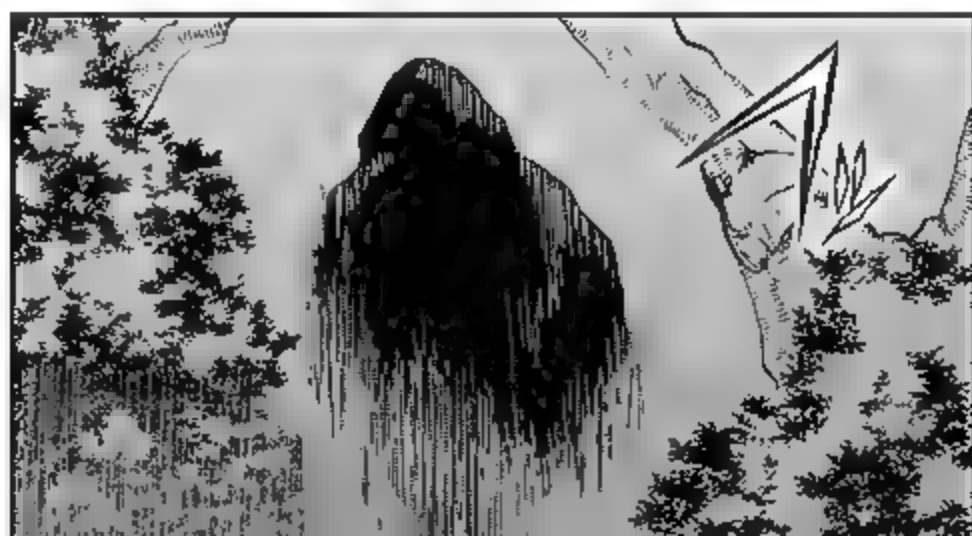
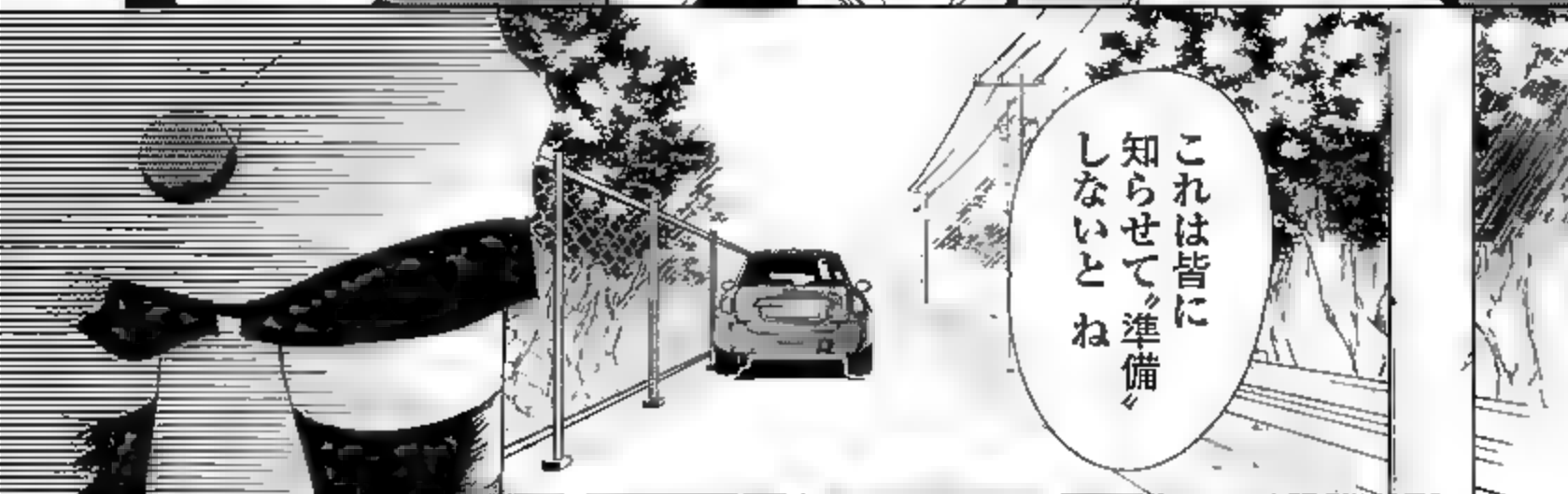
友達を消された
日根岸は…きっと
おれを許さないし
おれもやっぱり
日根岸が許せない
…だから
自首しなきゃ

死神のノートなんかじゃない
本当の…殺人鬼になっちゃう前に…
………
…んだよ それ…
――……
…えにし さん？
…『死神』
アンタさぁ…『死神』に来てほしいとか…言ってたよね
でもさ

本当は…目の前に居たんだよ？
あんたの死神はずっと…人間のフリしてさ
え
…え？
…イイよ
あたし あんたのためなら呪いでもなんでも…してやるよ
だからさ
自首なんかしたらぶっとばすからね

あたしなら日根岸を…
殺すことなく消せる
他の二人と同様に
…死神
だからな
え ちょっと⁉
ぴっちのひ…
ふう…
聞ーてんだろ？
『神さま』
早くあの男を
寄越して…
あたしを——
神社に…
連れてって
…また——お前か

いい加減にしとけよ…
限度ってもんがあるだろうが
『代償』でこの先お前の人生がどうなっても知らねーぞ
…よけーなお世話よ
あたしのことはあたしが決める
ガッ

…先輩…
見ました？
今の…
消え…
ましたよね？
ゆゆ幽霊
…っすかね？
先輩――
!!
みみみ見てない…
僕はなんにも見てない
……

やっと…
見つけた
間違い…
ない
クビツリ…
これは皆に
知らせて〃準備〃
しないと ね

ピロン
ピロン
ザッ
ザッ
ザッ…
ザッ

……
『クビツリ』さんを
捕まえる…？

――……

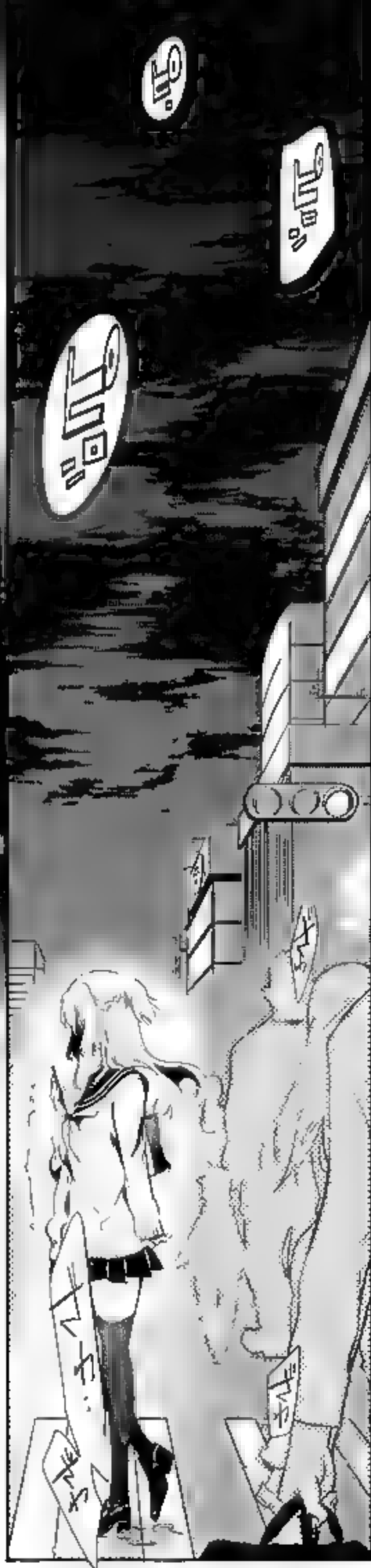
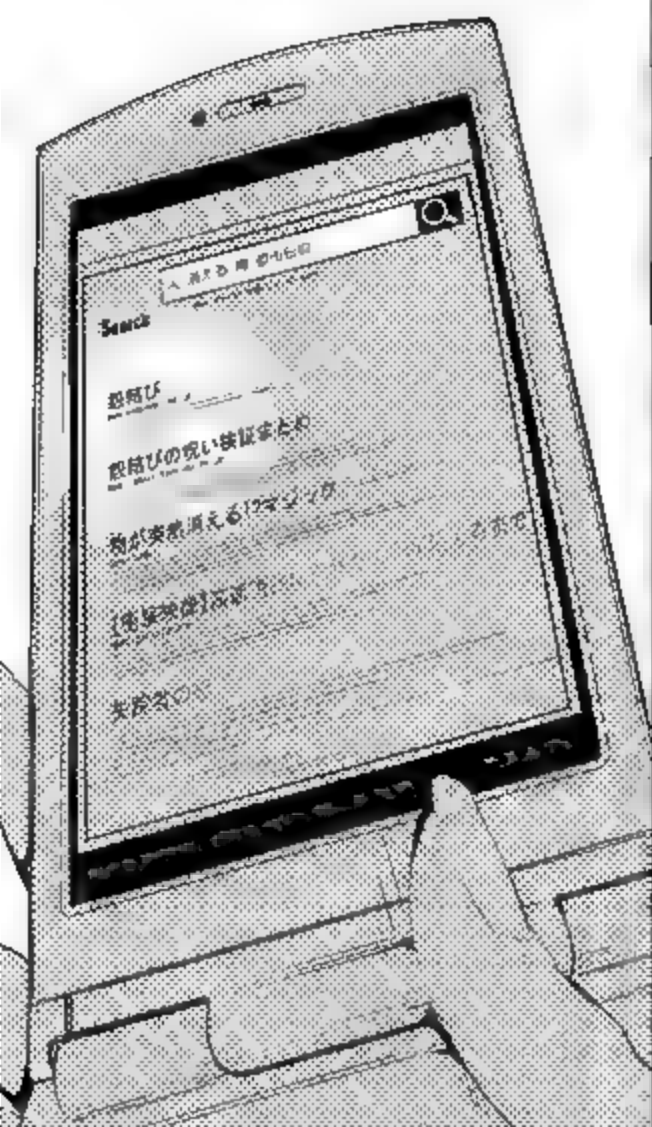
…学校…
行かなきゃ

日根岸に…
呪い…

家族ごっこも
もうおしまい…か

男が消えたくらいで
あっけないもんだね…

ガッコー…
行けなくなったら

浦見台にも
会えねーんだよな
なんて

…いっか
あいつにとっては…
その方が
死神はあたしだって
バラしちゃったしね
きっとびびってん
だろーなー(笑)
さって…
行きますか
あたしの〝役目〟も——
もうじき…終わる
Search

——ああ
ダメだ…

顔が勝手に緩んじゃう…♥

ざわ

ざわ

怪しまれないようにしないと

日根岸は今日必ず——消す

プリント配るから回せよー

それでやっと…あたしは浦見台を救えるんだ…

伊織たち…は
あれから完全にシカトか…
ああもうどうでもいいやそんなの
はやく授業終わんねーかな…
はやく…
はやく…
あたしが日根岸を消してあげるからね
ざわ
ざわ
……
……
日根岸ー
実はさ昨日のアレ気のせいだったみたいでー
今日…どうかな？
あ？出来ないんじゃなかったのかよ
不発っていうの？あたしたまにこーいうのあんだよね
!
…つぇ
えにし…さん!!

あ？
んだよ バカ見台
こいつ もう 俺の女だから
てめーごときが 気安く声かけてんじゃ ねーよ
ちがっ
ちがう…！
日根岸が一緒に居ちゃ だめなんだって!!
このままだ
どッ
なんなの？ こいつ 昔っからこと文離滅裂で 腹立ってきたんだけど
ちょっと…日根岸 ほっときなよ
…ッ
…！

『…気にすんなよ』

『あたしはどうせ… もう後には 戻れねーんだ』

だから浦見台 あんたはせめて

キレイな ままでいて

…頼むから——

え

にし さ…っ

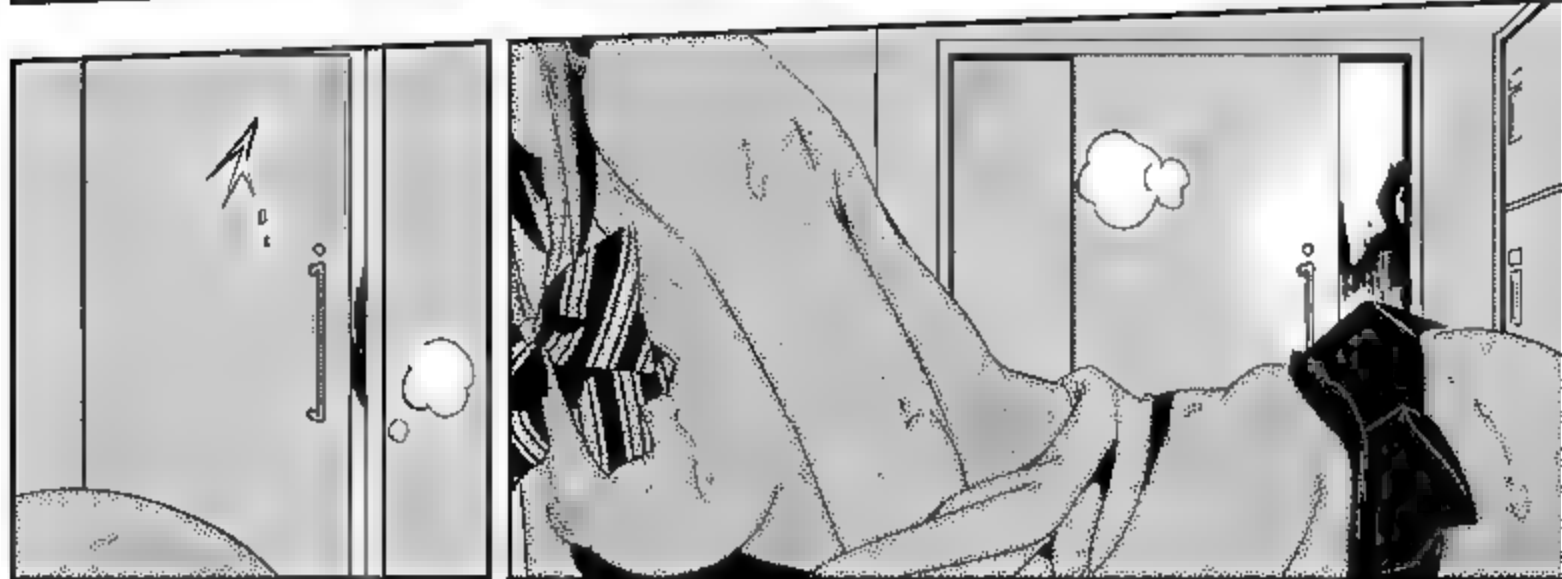
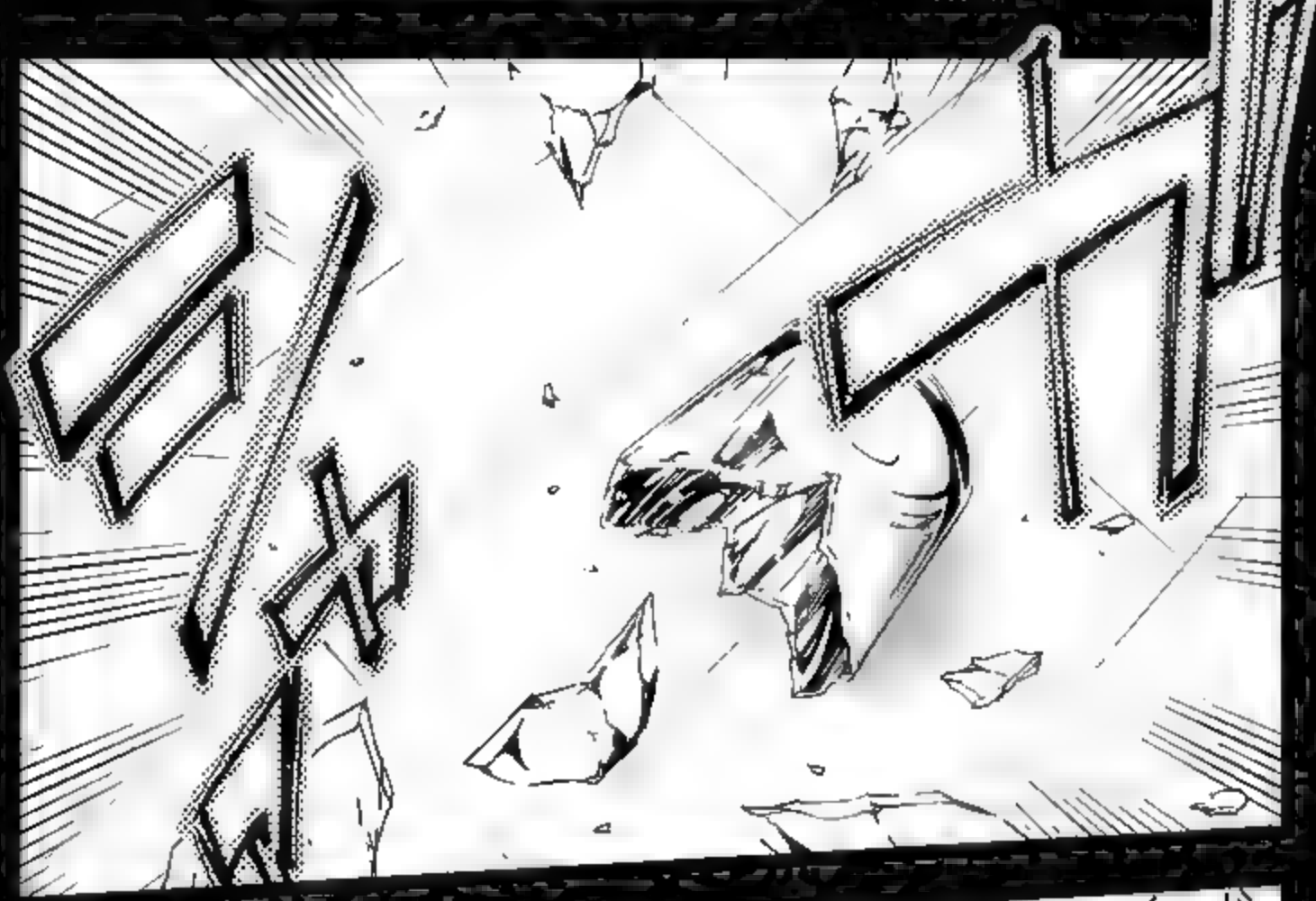
…さすがに

校内でのマークは無理っスねー…

…っこうしている間にもあの子がいつ実行に移すとも限らないのにッ!

だから先輩昨日から話が見えないんですけど…

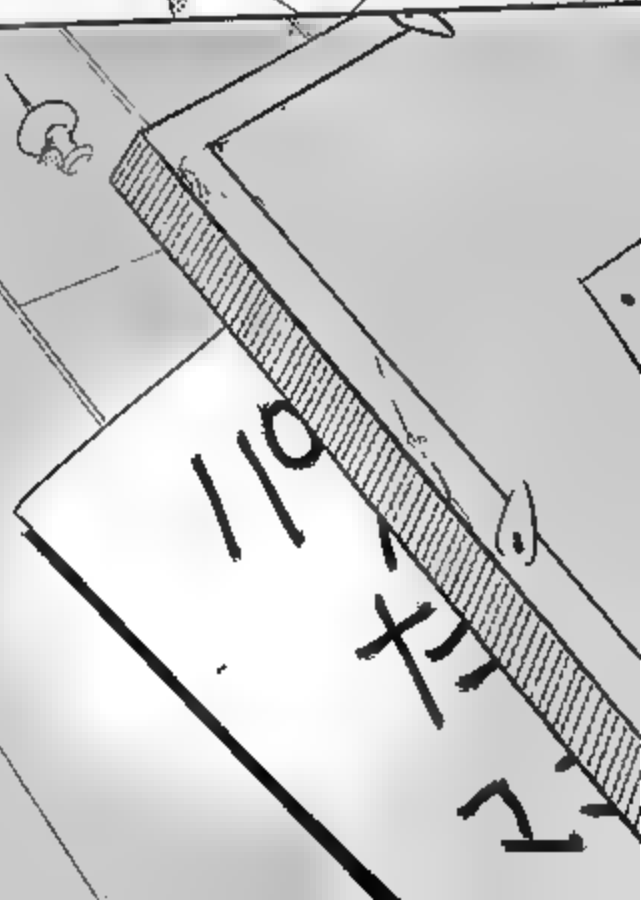
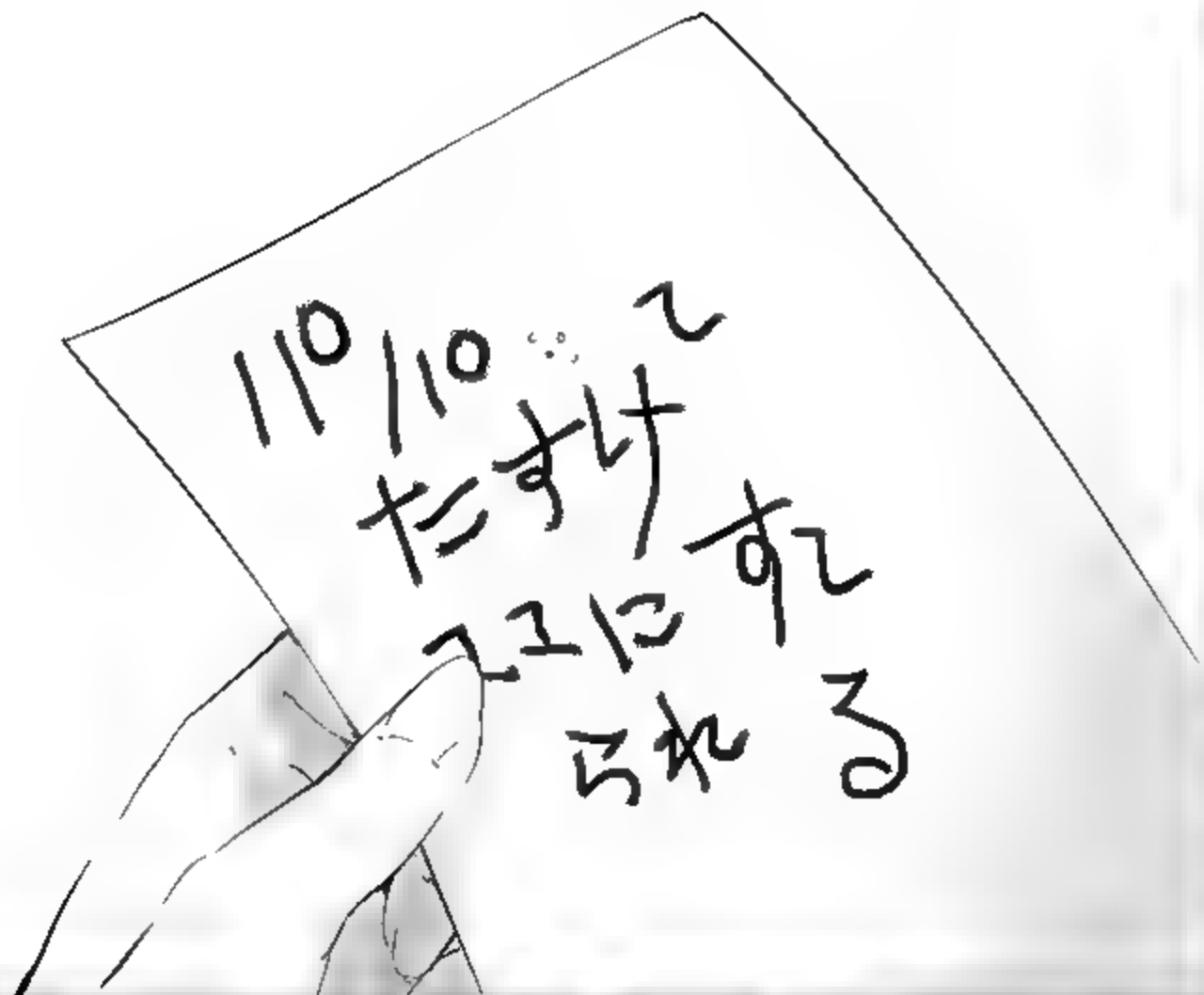
――っ
…ッ
ぷちゅっ
ぷちゅ
――はっ
んっ
ねえ…
セックスってさぁ…
実は男の方がすっごい無防備だよね…
あ？ なんだよいきなり…
だって一番大事なトコ…
あたしのナカっにんっ 突っ込んでる…わけじゃん
ね
このまま…
イーとこ連れてってやるよ…♥

だけどあたしは
天使じゃなくて
死神だから
アンタが行くのは
地獄の方…ね？
んだそれ
厨二プレイ？
そーいうの
いらねーから…
萎えるし
離さねえよ

!?
おっ
おっおっ締まりすげっ…
消えろッ
消えろ…
消えろ!
消えろ!!
消えろ
消え―――
!!!

は・・・
・・・・・
終わった・・・
はぁ・・・
はぁっ・・・
さっきの…手は…
はぁ
気のせい・・・?
は

第十二節❖エニシ チギリ

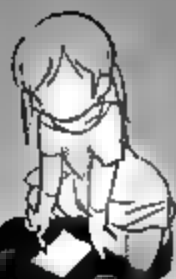
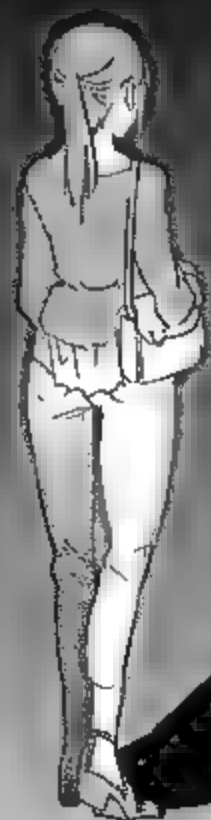
幸せな家庭を
取り戻したくて
優しそうな人を見つけた
新しい夫ができれば
私も娘の中に前の夫を
重ねることもなくなって──
きっと…
元通りに……
…なのに!!
バキッ
……?
パサ

パパ　て
たすけ
ママにすて
られる

……私でなく

居なくなった男に助けを求めるほどに——

私は…あの子を……

第十二節❖エニシ チギリ

ザワ
ザワ
ちょっと……そこ　あたしの席
どいてくんない？
えっ　知り合い？
お前のだろ？　俺初対面だし
……は？　あんたらケンカ売ってんの
いや　クラスの奴でもねーのに席とか何言ってんだっていうか
お前誰だよ
……
いーよもう…　勝手にしろ
浦見台…
屋上に…居るかな

あいつに――伝えたい
アンタを苛める奴らは
もう居ない
これからは笑って楽しく
過ごせるよ って……
……それにしても
“お前誰だよ”
ハブられんのが伊織たち相手ならともかく――
なんでクラスレベルになってんだ？
やってらんねー
なんなんだよ…
あたしがいったい何をしたたって――
――……

あなたには——
……支払うべき代償がない……
代償……？
江西知霧が——
『見つからない』ってどういうことだよ！

言葉通りだ
……少なくとも今の妾には認識できぬ
クビツリ
長く監視し　多少『縁』の深いそなたであっても見つけられるかどうか……
？
今までそんなこと一度も――
なんであいつだけ…
怨結びの代償は『縁』だ
そもそも『縁』とは何か
知人・友人・肉親…人を取り巻く様々な縁
それらが寄り集まり個人をそこに存在たらしめているとすれば

縁を全て失った時——
そやつの存在に
気付く者は居るのか?

誰からも
認識されぬ存在……
それは果たして

〝居る〟と…
言えるだろうか

おい…っ

もっと…
分かりやすく
言いやがれ!

つまり

あやつの
辿る道は恐らく——

〝これまで消してきた
人間たちと　同じ末路〟

くそっ!!

そんな後出し
ルールあって
たまるかよ…

確かにあいつは散々
人間を消してきたが
だからって――

頼むからまだ
そこに〝居て〟
くれ――

江西知務…!!

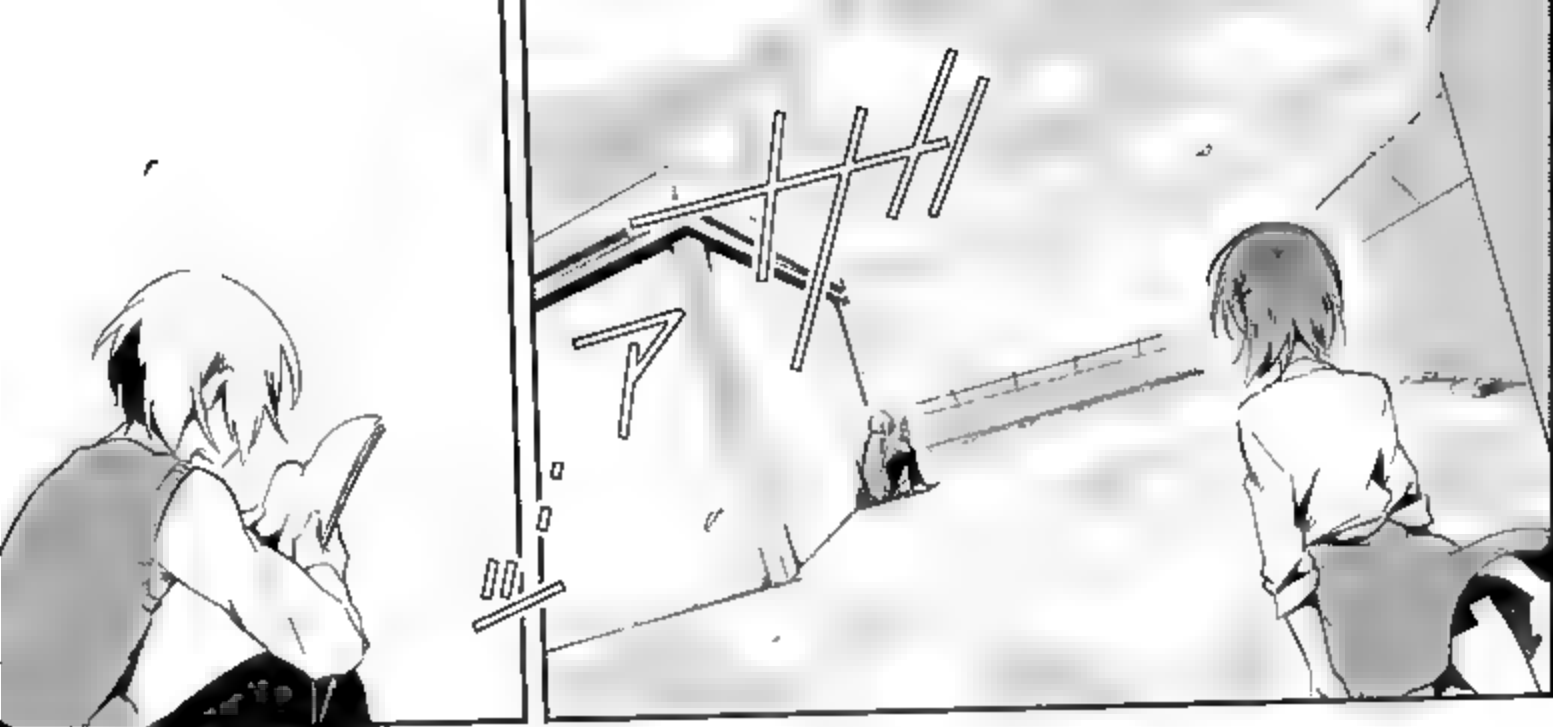
一度目の怨結びで…
誰かと結ばれるための
『縁』を失った
そして
二度…三度…

あたしは一体…
何を失って……

!

なんだよ
いきなり
なにが？
今俺の肩
おもっくそ
叩いたべ
は？
……

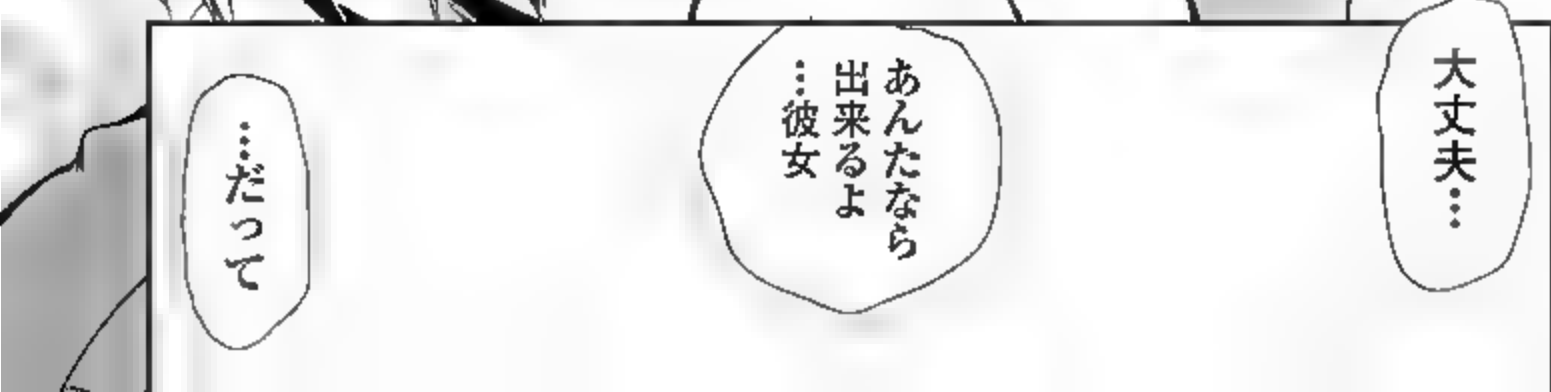
ひゃッ!?
今なんか足触った！
えっ？ちょっとー
なんもないじゃん

いって…
…はは…
なんだっての…
どいつもこいつも
まるであたしが
居ない みたい に…
…あ…
〝お前誰だよ〟
〝気のせい…?〟
〝消えろ!〟
違う──…
居ないみたい
じゃなくて
たぶん…あたし…
…もう
居ないんだ……

ガァ
ガッ
浦見台…あたし
頑張ったよ……
…初めは
呪う勇気なんて
なかった…
けど
不慮の事故？で
使ってから…
ヤケんなっちゃってさ
せめてあんたを　あの
クソみてーな日常から
助けたい　…って
そのためだけに…
やり遂げた…のに…

なんで…っ
そんな辛そうな顔
してんだよ…!!!
あたし何か…
間違ってた?
教えてよ…
浦見台
あたしに
気付いて…
あたしを
見てよぉ…!!!
ぴっ…
ちのひと…

なんで…
友達になれたのに…
助けてもらったのに…
楽しかったし…
うれしかった
…はず…
独り言？
なのに…
なんも…
出てこねえ
顔も名前も…
こんなんじゃまた
〝バカ〟って
言われる…のにっ
すげえ好きだって
気持ちばっか
ぐるぐるして…っ
わけ分かんねえ
よおっ…!!
……!!

サラ
うわ…前髪で見えねーと思ったら
ひっでーカオ…

えっ？…え？
あれ？なんで…
きょろ
きょろ
——ありがと…
浦見台
思い出だけでも覚えてて…くれて
けど…あたしはもう——
あんたに好きって言って貰える資格…ないから
大丈夫…
あんたなら出来るよ…彼女
…だって

すっげー男嫌いの
あたしが――初めて

好きになった
ヤツだから……

ザアッ

ヒュ
ウ
ウ
ウ
……江西知霧ッ!!
お…まえ
はぁ
何…ッ
やってんだよ
こんなとこで…
…久々に
目が合う人が
来たと思えば
なに？
その顔
アンタには…あたしが
どんな風に見えてんの…？

――‥‥!!
‥‥あたしさー
自分はずっと孤独だー
って‥‥思ってたんだ
信じられる家族も
友達も居なくってさ
でも・・・ホントの孤独は
全然違うんだね
‥‥桁違い
なんだかんだで
あたしは常にぬるーく
誰かしらに支えられてた‥‥
――ただ‥‥
特別大事な縁を
見つけた時は
必死でそいつを
捕まえとけば
それだけで‥‥
よかったんだね‥‥

おい――早まるんじゃねえ!!
…いーんだよもう
もうこの世に江西知霧はとっくに居ない……
!!
あたしが死んだって誰一人…気付かない
ドキ…
くそ!!
どんどん姿が霞んできやがっ…
!

知霧ッ
ッ。
なっ…

……ママ……？
こんな男に唆されて…
呪いなんて…っなんて
なんてバカなこと…っ
…は
なんで…見えてんのが…あんたなの…？
なんでよりによってあんただけが…っ

……ああ そうよね 嬉しくないわよね…
私…親のつもりで 何一つあんたを見ようとしてこなかった
あんたが・・・こんなことになっても…
最後の最後まで 助けを呼んで貰える 存在ですらなかった…!!
幼いあんたが…
家を出てった父親に助けを求めるほどに
長いこと ずっと一人にしてきたんだわ…
………
あのさぁ… あたしもう「居ない」んだよ
誰にも見えない…
あたしと居たって ママが変な目で見られるだけだよ?

・・・ッ
なんとか言えよ……
分かんないの!?
もう母親ぶる必要なんて無いって言ってんだよ!!!
分かったら…あたしのことはさっさと忘れて!!
あんたも自由に生きればいいじゃないッ!!
……離さない……
ぎゅ…

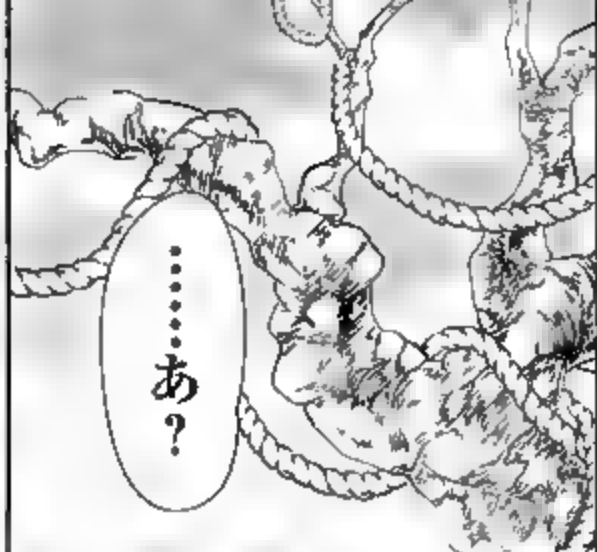
だって私には…
特別大事な知霧(あなた)がまだ
見えてるんだから……
……んだよそれ……
ぺたん…
そういうのは…もっと…早く…
言えっての

チチ
チュン
コト
……あら
やっと起きた?
コト
コト
おはよう
知霧
のんびりしてると
学校遅れるわよ
先にご飯
食べちゃい
なさい
『…おはよ　ママ』

同級生を救うため
怨結びを重ね続けた
江西知霧……
……
結果 本来失われる
男女の縁のみならず
あらゆる縁を失い
周囲に存在を認知
されなくなった……
……

だが——
行方不明者
唯一残された
最後の縁
もしかしたら
それは
…あいつが最も
望んでいたもの——
だったのかも
しれないな…

神さまの怨結び

かみさまのえんむすび

……あ？
お前 今…… なんつった？
クビツリよ
今日は妾に付き合えと言っている
幾つか話しておきたいこともあるのでな
……ついでに妾の髪も梳いてくれぬかの？
第十三節❖封印

第十三節　封印

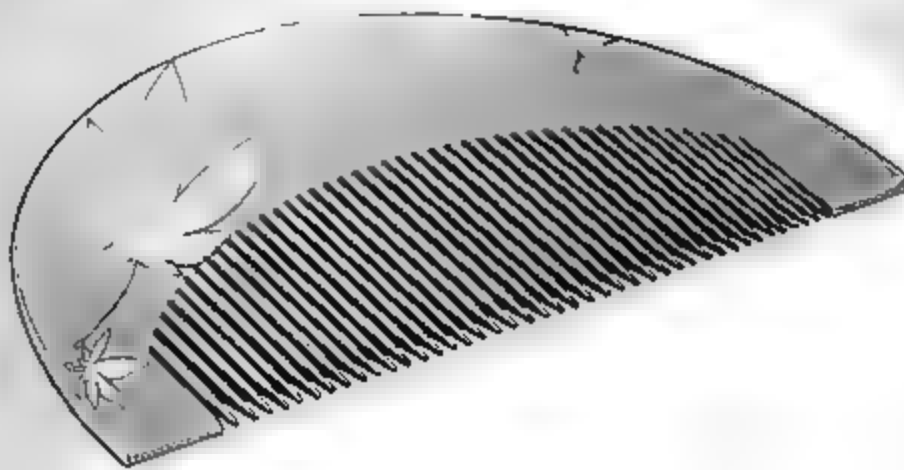
……おい
こんなとこ
漁らせて……
バチが
当たったり
しねーだろうな
心配せずとも
そなたは一度
漁っておる
なにせその首を括った
縄もまた社に納めて
おったのだからな
ああそーかよ
とっくの昔にバチは
当たってたわけだ
おっ
開いた……

いッ!

乱暴者が!

れでぃの髪はもう少し優しく扱わぬかっ

ぷり ぷり

……

…女の髪の扱いなんざ分かるかッ!!!

なんでオレが梳かなきゃならねえんだよ!!

優雅にチョコ食ってんじゃねえよ!!

もしゃ もしゃ

つれないのぅ 畏れ多くも神に触れる尊い機会だというに

少しは有難がらぬか

……話があるんじゃなかったのかよ

…やっぱり… 江西知霧のことか?

いつだったか……
〝消えた人間はどこへ行くのか〟
と…問われたことがあったがの
此度の
『重ねがけ』から少しばかり
見えてきたことがある
呪い人は呪いを重ねるごとに
伴侶 血縁 友人 知人……
あるいはもっと細かい縁
それらを
一つずつ失って
いくのではないか
そして縁を失うほど
存在が希薄になり
認識されなく
なっていく……

つまり 消える

一方で
呪われた側の
人間は
服が残されたり
人々の記憶には残ったりと
先の呪い人とは消え方が異なる
だが
根本的には恐らく
一緒なのだ

怨を結んで
縁を断つ……
だったか？

……
妾は
思うのだ

呪われた人間は……
実際にはどこへ行くでも
消えるでもなく

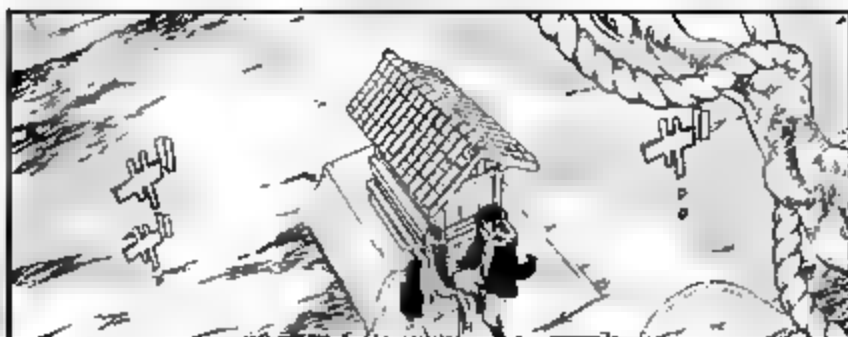
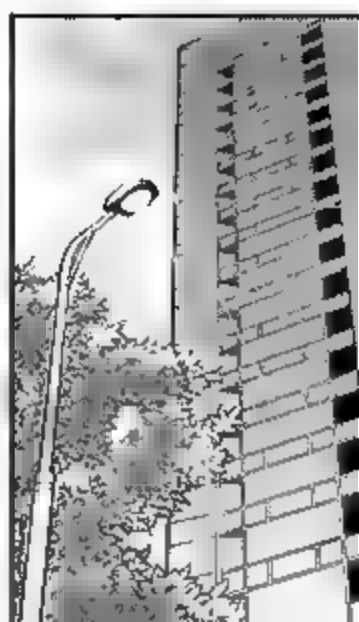
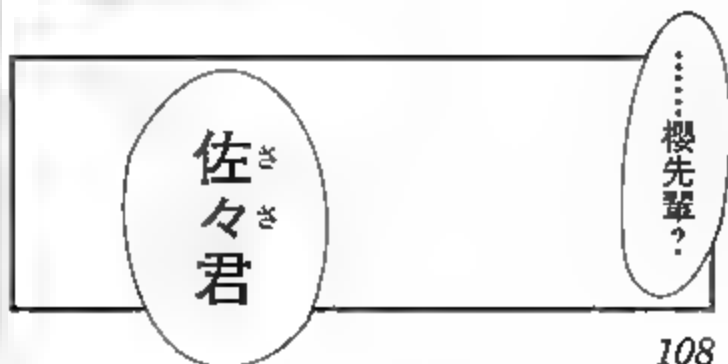
ずっとそこに
〝いる〟の
ではないか……

ただ この世との全ての縁を呪いにより一斉に断たれた結果が――
「消滅した」ように見えるだけではないか と
……お前 以前俺に
「消えた人間を元に戻せるかも知れない」とか言ってたが――
今ならその具体的な方法……
聞かせて貰えるんだろうな？
……ああ

消えた人間を戻すには
正しく『縁』を結び直す
必要がある……

だが――
『蛇』に怨は結べても
縁を結ぶ力はない

しかし
封印の解けた
『赤縄』であれば…

恐らく
可能だ

……結局やることは
これまで通り変わらねぇ
ってことか
そうだの
そなたにはこれからも
しばらく苦労をかける
きょとん。
で 実際のとこ
どーなんだよ
封印とやらは
後どんくらい
残ってんだ？
…？
……ああ
そうか
今のクビツリに
本当の姿は見えて
おらぬのだったな
あ？
ぺろ…

ガチャ
先輩！どうでした？

…………
やっぱり上の決断は変わりませんか……
突然の捜査打ち切り…
結局高校生連続失踪事件は迷宮入りしちゃうんですかね〜……
表向き事件性はなかったことになり
彼らはただの『失踪者』になる…
……ここはそんな事件ばかりの特殊な部署だから
……そう
怨結びを使われた時点で彼らを救う手立てはない──
……今は

今は手が届かなくても――

いつか必ず

私は……！

怨結び(えんむす)に関わって不幸になった子供たち……

通称『被害者の会』

未だ正体も目的も不明な被害者たちの統率者

私たち『少年八課』は――

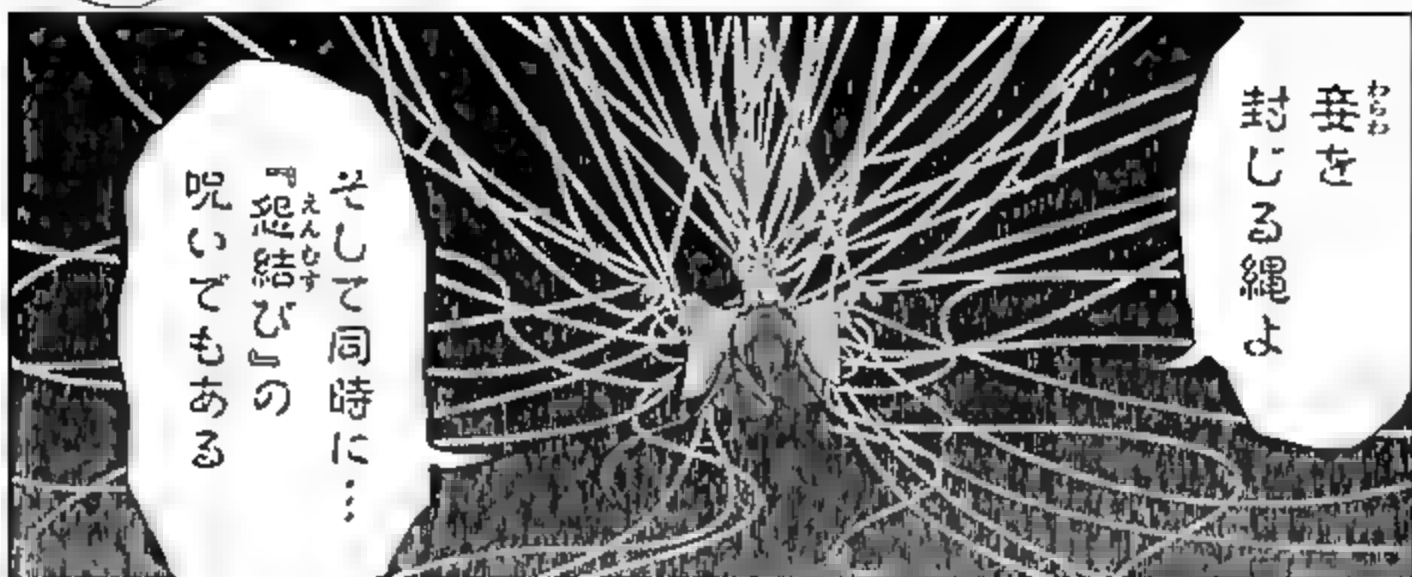
怨結び(えんむすび)による失踪者を追い呪いを解明する

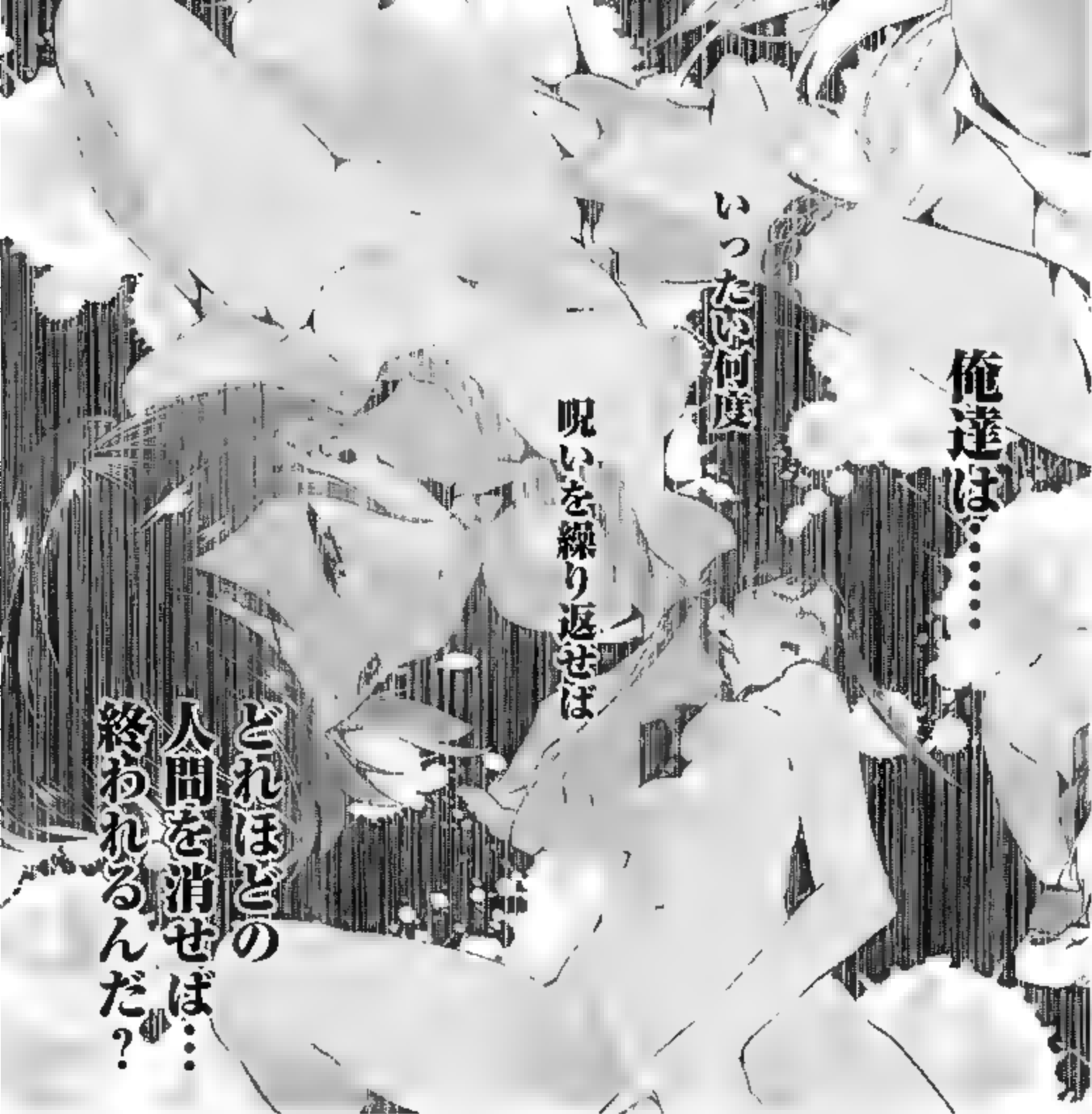
そのために新設された部署だから

『名無(ナナ)』にも接触できるかもしれない

おッ…まえ!!
いきなり何すん
だっ…!?

妾の血を授け
そなたとの
『縁』を深めた……
どうだ？
よく…
見えるであろ

なっ…ん
だよ これ……
まさか…
これ全部…ッ
そう

妾を
封じる縄よ
そして同時に…
『怨結び』の
呪いでもある

は……
俺は——

俺達は……
いったい何度
呪いを繰り返せば
どれほどの
人間を消せば…
終われるんだ？

くふふっ
やはり人に梳いてもらうと気持ちが良いのぉ♪
あ…？あれ？
さっきの縄…は
隠した
流石にあのままでは見苦しかろ？
妾とてあのような姿見られたくはない
見苦しいって…そういう問題じゃ——
今宵は特別だ……
……ん？

……そういや
蛇
お前 昔は下着みたいな着物一枚だけだったのに
いつからそんな厚着するようになったんだ
…貴様には関係ないッッッ
おい…蛇
…思い出させるでない…
あんな格好であんな痴態を
そなたに晒した過去
な…ど……

……おい。
ずるずる～
…まさか…
こいつが食ってたチョコって
洋酒使用 アルコール分
…そーいうことかよ
やけに饒舌だと思えば…
クピッツリ～…
むにゃ
わらわの…えにしは
むにゃ
むにゃ
ん
そなた だけ…
だ……

……
知霧(あいつ)も…早いとこ元に戻してやらないとな……
――消した人間が全て戻ってくる……

……それはつまり
呪い人は怨結びを使いたいほど憎んだ相手に
再び立ち向かうということ――
………
……それでも決して同じ過ちは繰り返さないはずだ……
一度呪いを使った者なら――
彼を消したいわけじゃない……
その間違いに身をもって気付いているはずだから……
それだけで…よかったんだね…
桜さんに構って欲しいのミエミエで

へぇー
でもそれってさ

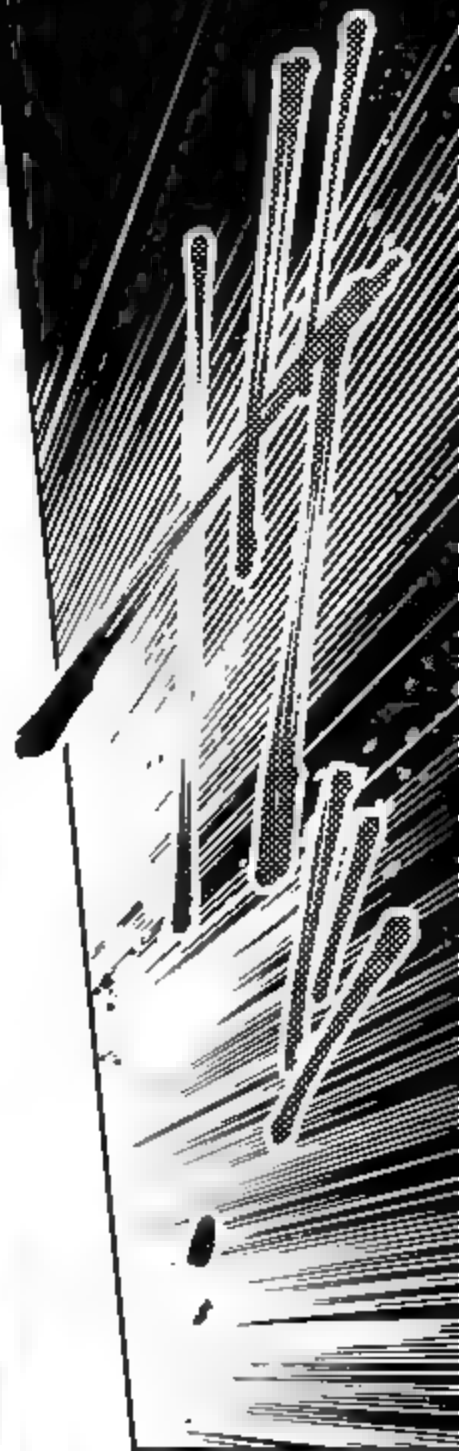
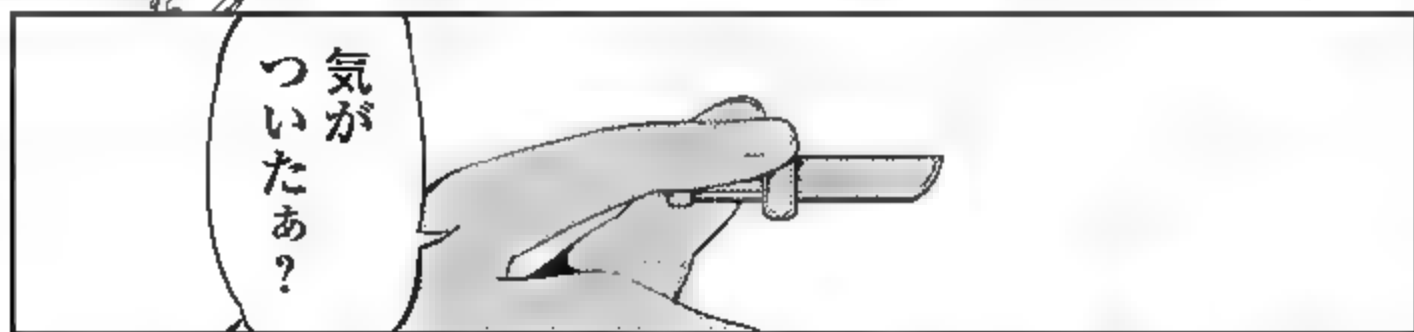
随分と君たちにとって
都合のイイ
解釈だよねー

呪いそのものを
呪ってやまない子たちは
どうしたらいいの？

……クビツリ……？

……

なんだ…これ

気がついたぁ？

君をここまで連れてくるのにすっごい苦労したんだから
その分いっ・ぱ・い・遊・ん・で・くれるよね
ねえ？
『クビツリさん』

神さまの怨結び

第十四節❖傷を舐め合う羊たち

おかげでよーやく捕まえられたわけだけど

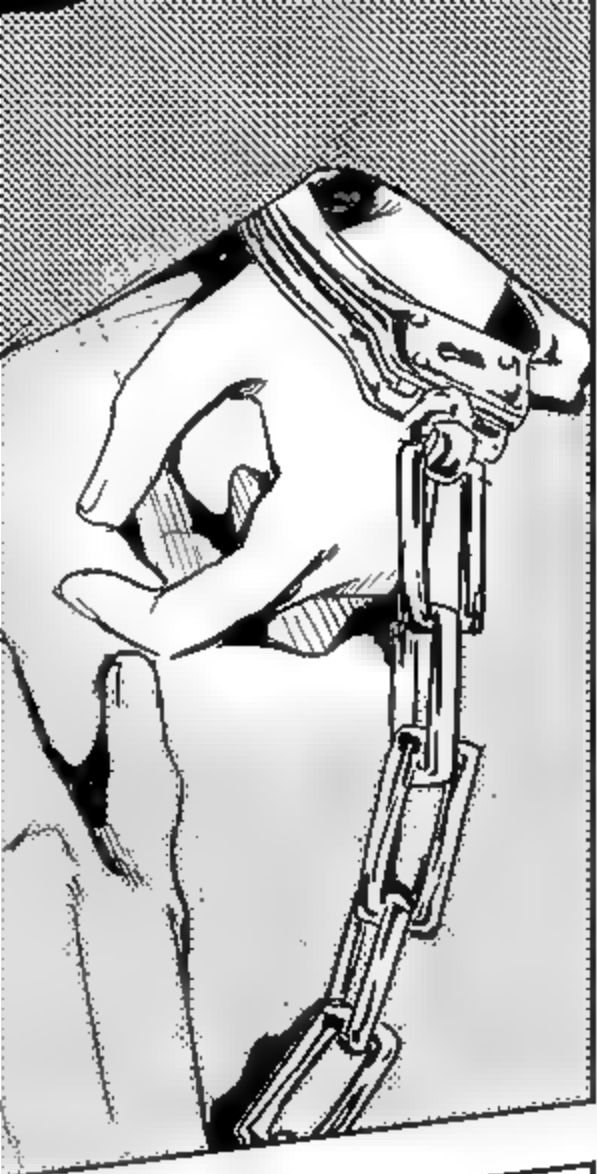
〃被害者の会〃へようこそ！
第十四節❖傷を舐め合う羊たち
僕に名前は無いから名無し……
名無でいいよ
被害者の会……
名無……？
なんなんだ？こいつ……

なに……してんだ?
いや それよりも――
あいつらの顔……どこかで――
あ 気付いちゃったぁ?

そう
ここにいるみーんな
呪いで不幸になっちゃった
可哀想な女の子たち……
怨結び(えんむすび)の
被害者だよ
代償のせいで誰かと
心から結ばれることも
できない……一生ね
……!!
ツッ
だからああして
身体だけでも繋がりたくて
縁無し同士で傷を舐めあってる

折角だから
クビツリさんが

僕と
遊んでよ！

ここから
逃げるのは簡単だ……
チャ…
だが
〝被害者の会〟が
存在すると
知っちまった以上
もう少し
様子を見た方が
良いな……
まず一本は
セーフだねー
おめでとう！
それじゃ
いいこと一つ
教えてあげる♫
下手に
逃げようとか
思わない方がいいよ

どこにでも現れて
消えるような君に拘束が
意味ないことくらい分かってる
だから対策を
練ったんだから——
こんな風にね!!

如月千緒子（きさらぎちおこ）○○○○○○
……ク
ビ　ツリ…さ…？
クビツリ……さん
おじさんを返して……
返して　ください
なんでも　します……

私が間違ってたの……
わたしの たった一人の…
家族 だったの……

そりゃ そーだよね
大事な息子が忽然と消えて
一緒に居たこの子だけが
無事だってんだから

みぃんな 君たちのせい

……この子 今は
消した従兄の親元で
暮らしてるらしいんだけど
針のムシロって
やつらしーよ

おねがい
です……
おねがい…
俺は……

俺は何も分かってなかった……

けど俺は呪いなんさ使えねえよ

ただの

…いや

お前らの共犯者、か

共犯と言っておきながら

こいつらの罪の半分も背負えちゃいない

君が神社に逃げれば繋がってるこの子も一緒に飛ばされちゃうかもねー

一生物のトラウマになった「怨結び」の神社に……

依頼人は呪いが成就した後も代償 後悔 罪悪感

全てを抱えて苦しみ続ける……

そんなことすら俺は――

やったー♪僕もセーフだ

何聞こっかなー

あ、「怨結びの神さま」ってさずっと神社から出れないままなの？

もしもーし 聞いてるー？
……
……出られるとは…… 聞いたことも 見たことも ない……
あいつは縄で あそこに 繋がれてるんだ
だから 俺みたいのを 使いに出して……
へえー！
やっぱりそうなんだ 神さまなんていっても 自分一人じゃ なんにも出来ない
所詮は籠（カゴ）の鳥なんだぁ！
……ねー じゃあさ もうとっくに 気付いてるよね？
……君さえ居なければ ここの皆みたいに 可哀想な子はもう増えない
あとは 言わなくても ……分かるよね？

あーあ
もうこんな
時間か
僕はそろそろ
帰らないと

ウチ ちょっと門限
過ぎただけですーごい
怒られるんだもんなあ……

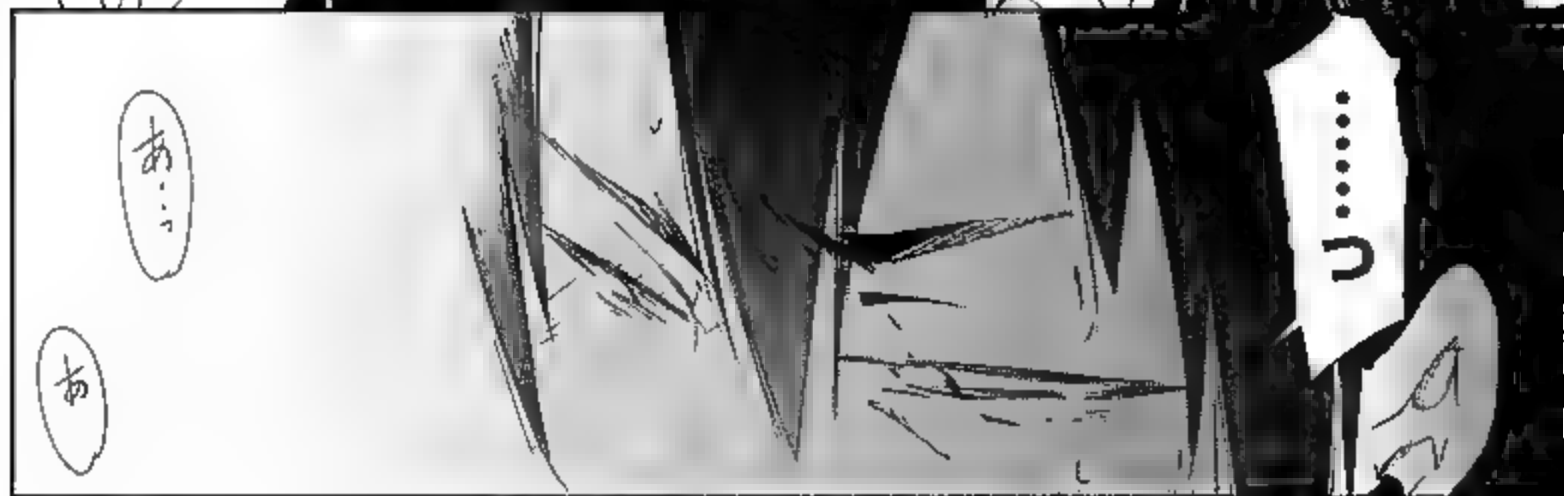
じゃ 今日
泊まれる子たち
後はよろしくー

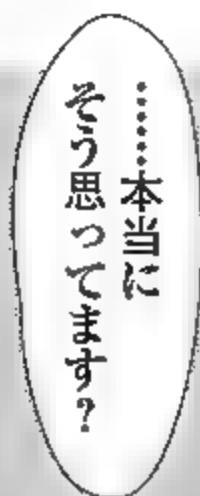
……

その子 家には
週一くらいしか
帰らないよ
あたしたちの中で
泊められる子が
順番に預かってる
帰れない
んだよ
帰れない……？

こうなるから……

虐待…!!

……これも全部
怨結びのせい

全部あんたたちのせいだよ
……っ
あ…っ
あ
こいつら全員……
俺が壊したのか
あ
あ
あ・
ああ あっ・
俺が神社に連れてったから
じゃあ 俺が……

俺がこのまま神社に戻らなければ……

俺が神社に戻らなけりゃ

怨結び（えんむす）びの犠牲者がこれ以上増えることはない……

ならず っとこのままの方が……

いや――

いっそ…殺してくれれば……

それであいつらの気が少しでも晴れるなら――

……いいじゃないか

……本当にそう思ってます？

怨結び（えんむすび）の数にビビって……
逃げ出したくなったんだ
あっさり殺されたりしたら
それこそ許しませんよ

役目を終えたら迎えに来てくれるって……

約束したじゃないですか

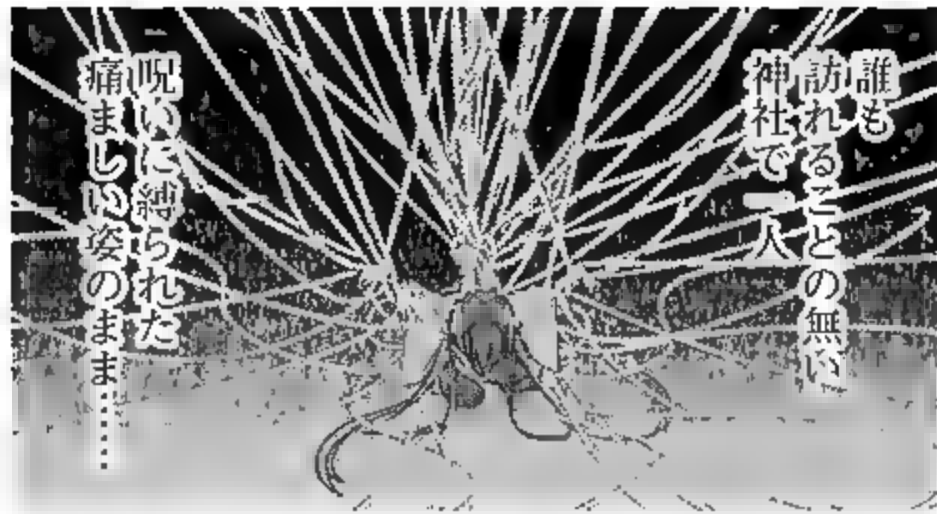
朝……？

役目……

俺の役目は蛇を解放して赤縄に戻すこと……

この世から呪いそのものを無くすこと だ

おはよー

今日は何して遊ぼっかぁ♫

てく てく

終わらせなければ
蛇はこれからも
怨結びを望む人間を待ち続ける
誰も訪れることの無い神社で一人
呪いに縛られた痛ましい姿のまま……
……悪いがもう遊んでやれねえ
俺には帰ってやることがあんだよ
……は？
言っとくけど帰す気なんてさらさら無いよ
蛇の元には行かせない
ズル
断ち切る勇気がないんならいっそ殺してあげよっか？

今はまだ……
消えた人間を
救える希望がある
そいつを成し遂げるまで
お前には殺されないし
怨結びは止めねえ
〝…よく
言った〟
〝…が そなたには
そこから抜け出す
こともできまい〟
!?
〝役立たずは
眠っておれ〟
蛇!?
おい!?

ふ…ふふ…
彼女たちを見てもまだ続けるっていうの？
やっぱり君も蛇同様心底クズだね〜
そんなクズはあ
今すぐ死んじゃええ!!!

久々に外界へ出てみれば――
〝妾の使い〟が随分と世話になったようだのぉ

……!!
しかし些か度が過ぎるのではあるまいか
妾もクビツリも貴様に恨まれる覚えはない
そうであろ？
他人の肉を纏った……まがい物が……
蛇……!!

ガリ
ガリ
ガリッ!!!

違う…違う違うッ
僕はまがい物
なんかじゃない
ぼくは…! …!!

…許さないぞ
蛇(くちなわ)ああッ!!!

…もし…役目が
終わらなくても
辛くなったら……
私の元に来てくださいね

その時は腕をお返しした後で

叶（わたし）が一緒に死んであげますよ❤クビツリさん……

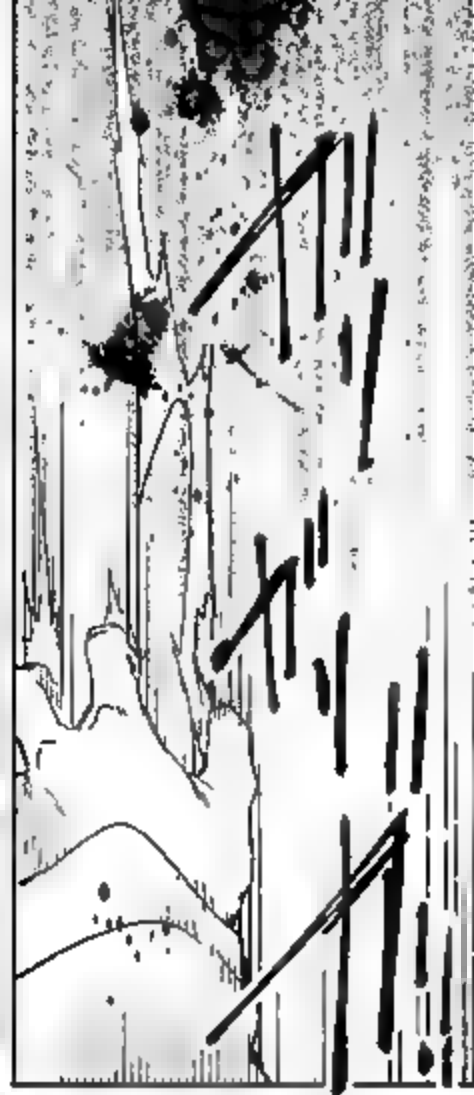
はっ

はっ

ダッ

ダッ

ダッ

……クビツリさん!!

はっ
はぁっ
……ああ そなたか
……久しいの
……!?
……違う…… この人 この口調……
外見は 昔 私を連れて行った 男の人のままだけど——
わ 私…っ
私は ずっと… あなたたちと神社を 探し 続けてて… それで…っ
…そうじゃ ない…っ

私…私は
あなたに会って
聞きたかった
ことが――……!!
稲葉(いなば)…は
生きて…
いますか…っ!?
……っい

!?
……すまぬな
そなた自身も長いこと……
妾の呪いに縛り付けてしまったようだの
えっ……？
稲葉とやらは……生きているとも死んでいるとも言えぬ
ただ 今はそこに無い……そんな存在よ
そして今妾の為すべきことは……
そんなっ……
人間の望むまま呪いを与えることだけだ
だが……そうだな

もしこの先
クビツリがそなたらを
必要とすることがあれば――

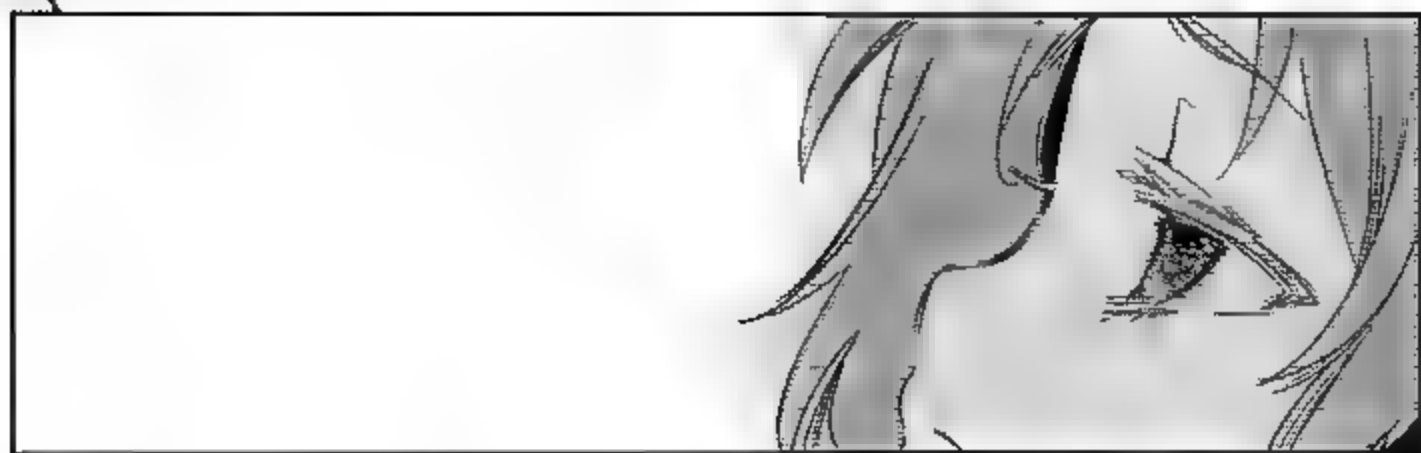
その時は……
力になってやって
くれんかの

スッ

……でもそれは
きっと神さまだから

人間なんて
歯牙にもかけない

そういうものだと
思っていたけど……

〃……すまぬな〃
怨結びの神さまは……
あんな悲しい目をする人だった……？

……クビツリよ

何をいつまでも拗ねておる

…………

第十五節※その手に触れて

そなた勝手に妾との約束を

反故にしようとしたであろ

……
……分かってるよ
もうお前を一人残して逃げたりしねえ
最後まで付き合うよ
……あいつも待たせちまってることだし
な……？
ふる
ふる
無礼者がぁッッ!!
分かったらさっさと呪い人を連れてこい――ッ
いってぇ!?

第十五節❖その手に触れて
鳥羽(とば)

お前 その絵
いい加減 完成させろよ
そーですねー
……
……それはぶっちゃけ 私の気分次第です
お前はそう言って 描いちゃ捨て 描いちゃ捨て……
何べん途中で ブン投げれば 気が済むんだオイ!!
こんもり
だって……

途中で飽きちゃうんですよ……

なんか…私 別にこれ描きたいわけじゃないなーって

お前なぁ……ちったあ美術部顧問の俺の身にもなれ

はぁーーい。。

別に無理強いはしたかねえが活動実績は必要なんだよ

……

郷地(ごうち)センセってぜんぜん美術部顧問に見えませんよね

なんで体育系の顧問にならなかったんです?

?

?
……せ
……せんせ あの……
鳥羽 お前……

キレーな手ぇ してたんだなあ!!
精巧な彫刻 みてえだ……!
はー…… このなめらかな触感…… 大理石みてえだ!!
いやぁ まさか身近に こんな理想の手があるとはなぁ 全く気付かなかっ……
……
すすす すまねえ!!
これは決して セクハラとかじゃ ねえんだ!
たったただ単に 綺麗だったもんだから つい彫刻触る感覚で……っ

あ…っ
おあ
……

……私
今日は帰ります……
お おう……
気をつけて帰れよ

……やっちまったなあ……
しかしあいつ ほんとにいい手してたな

長い指に艶やかな卵形の爪
うっすら透けた血管がまた色っぽ……
って いかんいかん
今は大事な時期なんだ……!!

妙な噂が広まりでもしたら大変だ……
………
ぎゅっ
それじゃ失礼しますねー
ガラ ガラ…
！

おばあちゃん

あのね

今日
びっくりすること
あってね……

……
……
あ センセ 今日も美術室 来るの遅かったね
他の子は もう帰っちゃい ましたよ
鳥羽あ!!
お前これ 昨日のっ…… おいいい
昨日あれほど 仕上げろって 言ったろうがぁ!!
描きたいもの 見つけたんで

……先生の手
描きたい
……なんだこれは
無性に緊張するぞ
んー……センセもう少し指……
角度付けて欲しいな
ん？こっこうか？
違いますよ
ほら……こうして

さわ
うん…こう…でこうして
さわ
……

……なんでそんなに堅いんですか今日……
俺はモデル経験なんてないんだよ！
仕方ねえだろ!!
分かりました……休憩しましょう

……郷地センセ
卒業したら……
私のこと貰ってよ
ゲッホ

おめっ…何
言ってんだ…
知ってると思うけど
うち親居ないし
すっごいビンボーなんですよ

おばあちゃん……
きっと
もう長くない
私もうじき
天涯孤独
なんです

ドゴ

縁起でも
ねえこと
言ってんな
がし
がし
……

……うちの親父は漁師やってたんだがあんまり向いてなくってな
俺もガキの時分はまあまあ貧乏してきたよ
本音を言えば美大にも行ってみたかったが無理はさせられねえ
妹たちの学費のためにもいったん夢は脇に置いて教師になったわけだ
だがな
俺の夢は幸せな家庭を持ってガキと嫁さん守りながら
もう一度美大を目指すことなんだ……
ビンボーってのは夢を諦める理由にはならねえ
いったん遠回りする原因にはなるがな
だからお前も心配すんな
なんとかなるもんだ!!

センセ出会いとか少なそうだし
……おヨメさん早く見つかるといいですね

ご結婚されるんですか!?

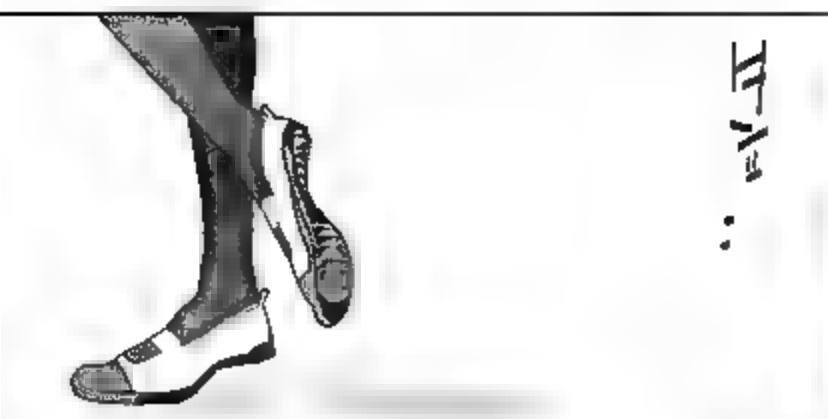
でけえ声出すんじゃねえよ!!
いやーだってあの郷地先生がめでたいじゃないですか!
でっでっお相手は?

妹の友達だっ
昔からちょくちょく家に遊びに来てただな……
おおっ年下く!!羨ましいなあぁ!
お友達紹介して貰えませんかねっ
するか!!

チッ
これだから結婚報告ってのはめんどくせえ…

鳥羽……？

ヨッ
オイッ 生徒に聞かれたじゃねえかぁぁ！
いや〜どのみちあっという間に広まりますよ〜
こんな田舎町じゃあ

パタ
パタ

……いるなんて聞いてない
そんなの……
おヨメさん早く見つかるといいですね
……お？ お おう！
……〝うそつき〟
私の手 あんなに
褒めてくれたのに——
えっ……
……『声』の主はお前だな

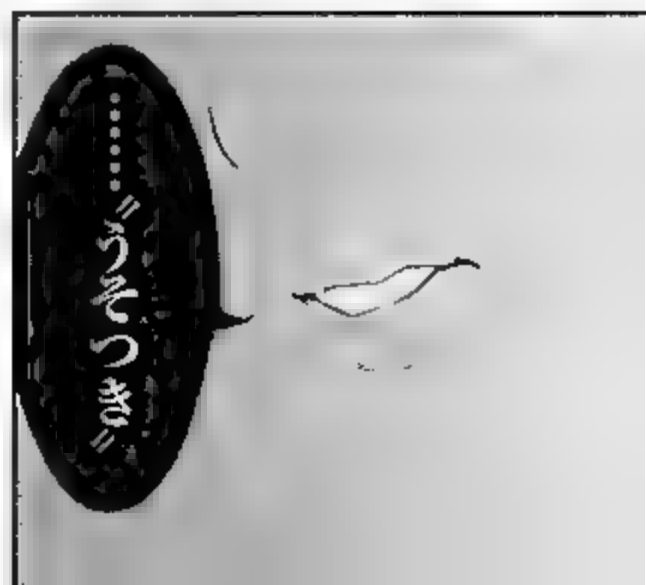
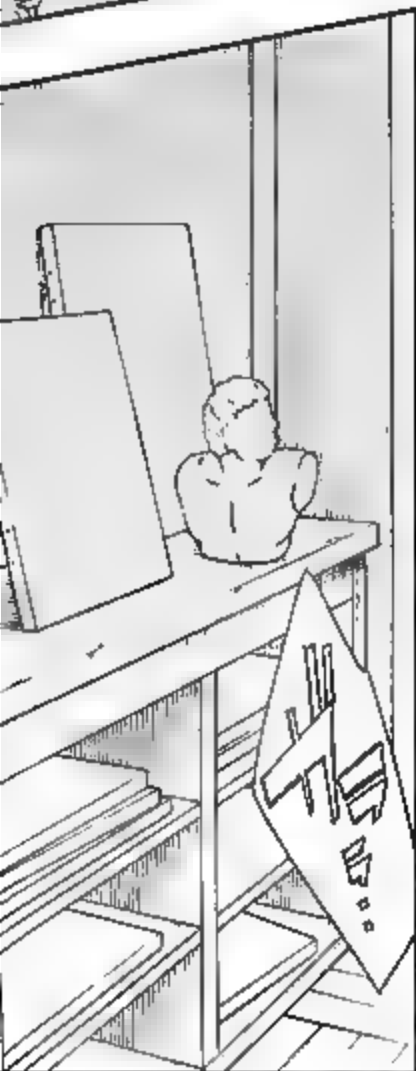
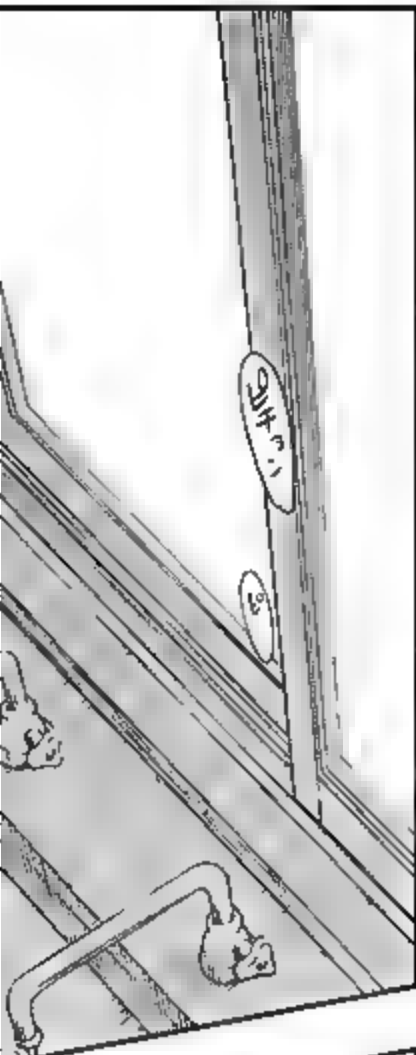
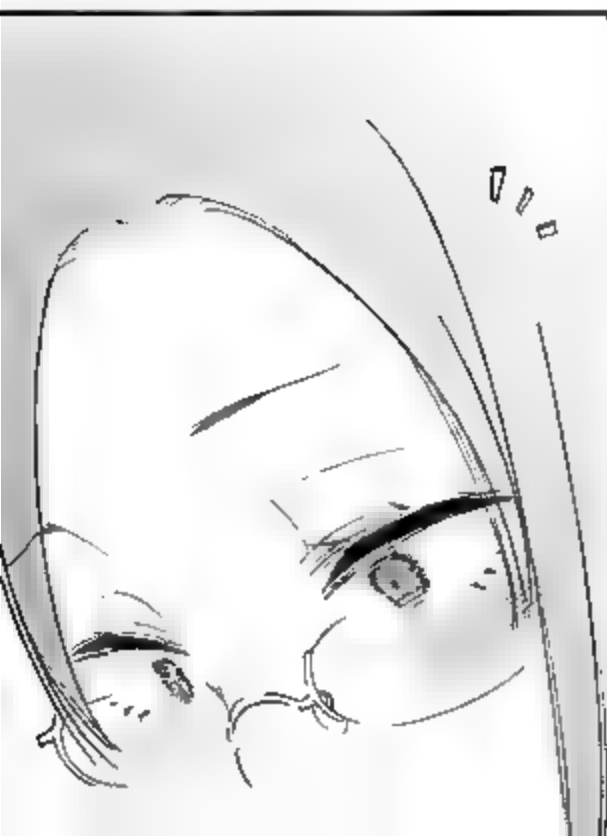
『怨結び(えんむす)』って…
聞いたことあるか？
ピチョン

……おう

……モデル

ペこ

お願いします

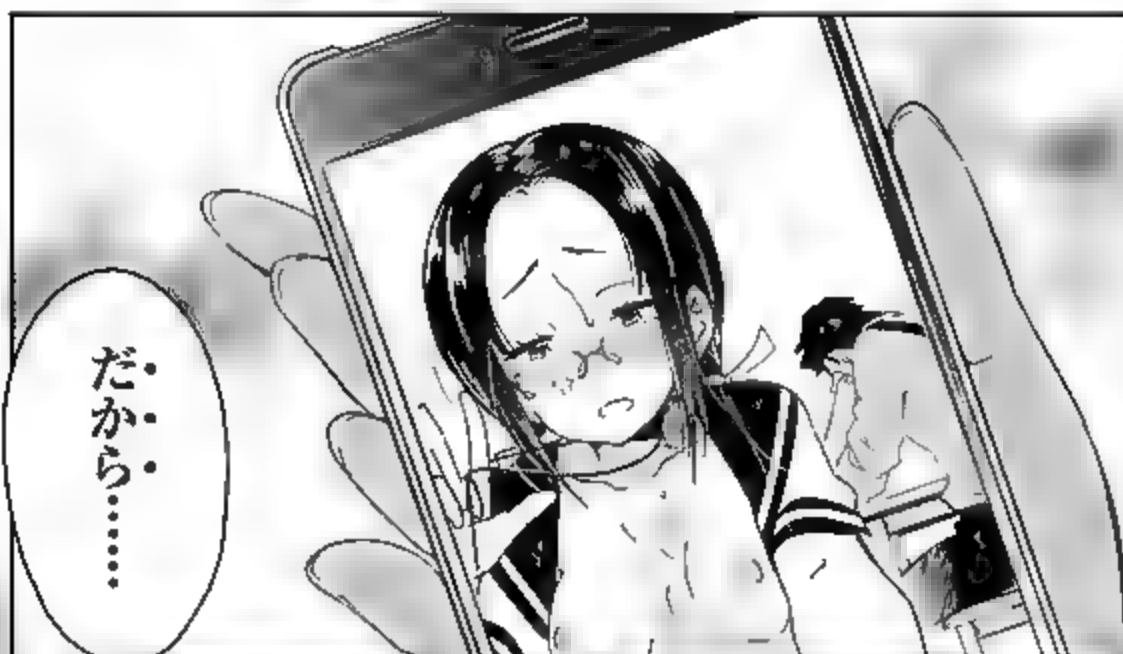
……
見なくて済むから
ニャ…
ニャッ
ニャ…
ギクッ

好きなんでしょ……？
女の子の……
私の 手……
!?
あ あんなに驚いたってことは
少なくとも…手だけは婚約相手の人よりも私の方が好みなんだよね

なんだ……入れ墨？印!?
身体が動かねえ……っ
こいつ本当にあの烏羽か!?
てちゅ
ぱ
は
はぁ…
こんな…妖しい…
は…
すごい……物欲しそうなカオしてるセンセ……
……どうしてほしい？この手で……

……ああ……
……素直なんですね……
男の人って……
おっ……
おい……やめろ!!
俺は生徒とこんなことしたくねえ!!
さ…触るね……
おず
したくねえのに……
きゅっ…
止めたくねえ……

え…すご…
え？ こんな……なるの…？
きゅっ…
……！
……!!
ん……こ
怖い…けど
センセはちょっと
カワイイ かも…
俺の 理想……

理想の手指…
は
は
血の通った
至高の彫刻が
俺のなんかを…
決して、
叶う、はずのない欲望
は
あ
それが…今ー…!!
はあっ
…はぁっ
ありえない!!
はっ
…あ!
いま
跳ねて……っ
は一一…
は、あ…っ
はぁ…っ
う…
はぁ…

……すまねえ……
今日のことは…忘れて くれ
…どうしてセンセが謝るの？
私がしたくて勝手にやっただけなのに
それでも許されることじゃねえんだよ!!
俺は止めるべき教師で……
これ……実は呪いなんです
あ・・ぅ

誰にも抗えない魅了のお呪い……
お呪いだからセンセは何も悪くないし
これは浮気じゃないですよ
だから……
もうしばらく……
私と遊んでよセンセ……❤
『神さまの怨結び』第③巻／完

to be continued……

あとがき

おかげさまで怨結びも3巻めを迎えることが出来ました。ありがとうございます。

❖エニシチギリ

2巻を跨いでの掲載となった知霧編も、ようやく完結です。本当におつかれさまでした。
サブタイトルにもなった、彼女の名前そのものが物語を表してます。

もともと彼女のお話は怨結びが1巻で一度休載する前から土台だけは存在していて、
ずっとやりたかったお話のひとつです。

ネーム作業（漫画のコマ割や構図を決める作業）というものは
結構感情移入してしまうもので、
知霧編ラストなんかは画面がぼやけてよく見えないや…な事案もありました。一人で。

そのくらいには思い入れのあるエピソードです。

完結とはいってますが、焦点が当たらなくなるだけで
彼女たちにも当然これからの生活があります。
そちらについては次のエピソードで登場する少女たちも同様に言えることですね。

Special Thanks（敬称略） 蒼井ミハル／カエル紳士／奈春／原玉蔵／担当H野

❖封印

久々にクビツリさんが主人公・・・
と見せかけて、最後はやっぱり蛇さまの手刀で一刀両断なメインストーリー。

それはさておき知霧編から再登場した第一話のゲストヒロイン、櫻。
社会人になっても、童顔のため外見はあんまり変わってませんね。
彼女の所属する部署や相棒、上司（未登場）などなど
櫻サイドの物語も色々と構想中です。

これで1巻に出てきたヒロインは
全員再登場したことになりますね。（一人は回想ですが）

❖その手に触れて

収録ラストの新章では新たな呪い人、鳥羽さんが登場しました。
先生の結婚を知って豹変した彼女は何を望み、
どんな結末を迎えるのか・・・

蛇さまの意味深な言葉や『名無』の動向も
どうぞお楽しみに。

ここまで長々とお付き合い、ありがとうございました。
次は4巻でお会いしましょう。

手に囚われた男と
手に呪いを受けた少女が
堕ち逝く先は——

呪いの神に
全てを知った上で
厄を捌く……。

……ダメです。
私のお願いはまだ終わってません

少女は自ら闇に進み逝く、
どこまでも深く、
果てしなく昏く……。
センセだってここでやめる気
ないでしょう……
神さまの怨結び4
乞うご期待!!

神さまの怨結び

かみさまのえんむすび

電子特装版

神さまの怨結び 3

かみさまのえんむすび

限定特別画集

守月史貴

Champion RED Comics

KAMISAMA N

Presented by K

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

(さくら)
櫻さん
KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SHIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

神さまのお金はどこから出てるの？

クビツリの服代等もだいたいここから出してます

神(かみ)さまの怨結(えんむす)び 3

2016年7月1日　初版発行

著　者　守月史貴(かみづきしき)

発行者　秋田貞美

発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-23573-0

デジタル版　2016年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com